

(議案第 5 号関係)

令和 2 年度 事 業 報 告 ~~(案)~~

社会福祉法人長野県社会福祉事業団

目 次

本部事務局事業

1	経営組織のガバナンス強化	・・・ 1
2	事業運営の透明性の向上	・・・ 2
3	経営基盤の安定強化	・・・ 3
4	公共事業の取り組み	・・・ 5
5	台風19号被災事業所について	・・・ 7
6	新型コロナウイルス感染防止対策について	
7	計画的な施設整備・メンテナンスの実施	・・・ 8
8	働きがいのある職場づくり	・・・ 9
9	提供するサービスの質の向上	
10	各事業所の特記事項	
(1)	長野ブロック	・・・ 11
	・ 水内荘	
	・ みのちグループホームセンター	
	・ 歩楽里	
	・ 八雲日和	
	・ 小春日和	
	・ 長野市地域活動支援センターこぶし	
(2)	松本ブロック	・・・ 14
	・ 信濃学園	
	・ 松本あさひ学園	
	・ 松本ひよこ	
	・ 大北圏域障がい者就業・生活支援センター	
	・ 松本児童家庭支援センター	
(3)	上伊那北部ブロック	・・・ 17
	・ ほっと上伊那	
	・ 伊那ゆいま〜る	
	・ ほっとジョイブ	
	・ 辰野町障がい者就労支援センター	
	・ 辰野町地域活動支援センター	
(4)	上伊那南部ブロック	・・・ 20
	・ 西駒郷	
	・ 上伊那圏域障がい者総合支援センター	
(5)	障がい者福祉センターブロック	・・・ 21
(6)	泉平ハイツブロック	・・・ 22
	<資料-1>	・・・ 23
	<資料-2>	・・・ 28

令和 2 度長野県社会福祉事業団事業報告(案)

長野県社会福祉事業団（以下「事業団」という。）は、県、市町村、関係団体、そして地域住民や N P O 法人等との協働やネットワークの形成を図りながら、支援にあたっては事業団理念の『誰もが笑顔で輝く社会を創造します』の実現に向け、利用者の人権の尊重と利用者の自己決定に基づいた支援に取り組み、利用者の豊かな暮らし作りを積極的に進めてきました。管理部門では、新型コロナウイルス感染症対策として、国及び長野県の指示に沿った運営を行いました。施設内衛生管理の徹底、外部者との接触制限、加えて職員による施設内流入を防ぐために、各地域の感染者数の推移に対応して県内外を問わず不要不急の移動の自粛を行いました。また、万が一感染者が発生した場合の協力体制、建物ゾーニング等の対応方針を各事業所で検討しました。その他、新型コロナウイルスに関わる、事業所や個人の助成金、慰労金、かかりまし経費の取得について対応しました。

本部事務局事業

1 経営組織のガバナンスの強化

(1) 法人運営に関する会議

事業計画、予算、決算などの重要事項について下記会議を開催しました。

ア 評議員会（定時評議員会 1 回（6 月）と臨時評議員会 2 回（11 月・3 月）

開催日	内 容
7/16	・令和 2 年度収支予算の第 1 次補正、積立資産の積立及び取り崩しについて ・長野県社会福祉事業団諸規程の一部改正、令和元年度事業報告及び決算報告 ・松本あさひ学園及び信濃学園の指定管理者の指定申請、新型コロナウイルス感染症対策について等
11/12 WEB 開催	・長野県社会福祉事業団定款の一部変更について ・ほっとジョイブ短期入所事業所の事業申請に伴う事業計画書、収支予算書等 ・令和 2 年度事業の中間報告、理事長及び常務理事の職務執行状況等
3/25 WEB 開催	・令和 2 年度積立資金取り崩し、収支予算の第 5 次補正について ・令和 3 年度積立資金取り崩し、借入金の限度額等について ・令和 3 年度事業計画、収支予算について ・ブロック長、事務局長、事業所長の選任、理事長、常務理事の職務執行状況等

イ 理事会（評議員会の開催前と必要に応じ）

開催日	内 容
6/30	・長野県社会福祉事業団諸規程の一部改正 ・令和元年度収支決算に係る計算書類及び事業報告等 ・松本あさひ学園及び信濃学園の指定管理者の指定申請について等
10/22 WEB 開催	・長野県社会福祉事業団定款の一部変更について ・理事長、常務理事上半期職務執行状況及び中間報告等 ・ほっとジョイブ短期入所事業所の事業申請に伴う事業計画書、収支予算書等
3/3 書面評決	・評議員選任・解任委員の選任について
3/11 WEB 開催	・長野県社会福祉事業団諸規程の一部改正 ・令和 2 年度積立資産の取り崩し、令和 3 年度積立資産の取り崩し、令和 3 年度事業計画、収支予算計画、ブロック長、事務局長、事業所長の選任等 ・理事長、常務理事の職務執行状況

ウ 経営委員会（月1回）

回数	内 容
13 (WEB 会議)	事業計画、報告、予算執行について、規程、運営規程等の改正について 職員採用について、松本あさひ学園及び信濃学園の指定管理者の指定申請について、新型コロナウイルス感染症対策について等

(2) 事業の進捗管理

ア ブロック会議

ブロック事業所の課題解決や職員研修の実施（適宜）

イ 所長会議

回数	内 容
3回 (WEB 会議)	事業計画、報告、予算執行について、各事業進捗状況報告、懸案事項検討 新型コロナウイルス感染症対策について等

ウ 事業団委員会

利用者本位で質の高いサービスを提供するため、法人、事業所が抱えている課題について検討しました。

なお、検討結果については具現化に向け経営委員会に報告、提言をしました。

<管理部門>

委員会名	実 施 内 容
運 営	・管理者による人材登用、職員育成、管理者のあり方について提案検討を行いました。(WEB: 4回)
広 報	・事務局が中心になりホームページのフォーマット統一に取り組みました。
研 修	・法人として階層、職制に応じた、目指すべき研修、資格のガイドをまとめました。 ・管理者研修を中心に人事、職員育成、管理者のあり方について意見交換を行いました。

<支援部門> 効率的な委員会のあり方について検討しました。支援部門の活動自体は行いませんでした。

<プロジェクト>

委員会名	実 施 内 容
重度包括等の 支援の改善検討	・収益を上げるために必要な項目を抽出し、市町村と協議しました。大きな収益改善に向けた成果が得られました。 ・波田しなのハイツの課題とこれからの方向性について検討しました。
改善提案委員会	・職員満足度アンケート調査の結果から、優先して議論されるべき議題、3つについて報告会で各事業所の進捗を確認しました。
人事・給与制度 統合・改善検討	法人の活性化と経営に向けた人事給与制度の改善検討を行いました。 人事、給与、勤務評価、キャリアパス等の検討を行いました。

2 事業運営の透明性の向上

社会福祉法人の経営の透明性のために、情報発信の機能の充実を図りました。本年度においては主に次の事業に取り組みました。

(1) 情報公開

経営の透明性を確保するため財務諸表や活動状況、事業計画、役員報酬等ホームページで公開しました。

(2) 情報提供

誰もが見やすく分かりやすい情報提供のため、法人ホームページのフォーマット統一を行いました。

・広報誌（やまなみ）と職員対象の広報紙（やまびこ）を発行しました。

3 経営基盤の安定強化

(1) 人事管理

ア 職員の確保

・職員採用のため、県内外の大学、短大、専門学校や関係機関が主催する職場説明会への参加、他の福祉団体と連携し福祉人材確保に取り組みました。新型コロナウイルス感染防止のため、大半がWEBによる説明会となりました。昨年度同様、予定する職員数の確保に苦慮しています。

新規採用職員内訳

階 層	職 務	人 数 (人)
総合職	主事、支援員、看護師	7
一般職	主事、支援員	17
介護職	介護員	4
合 計		28

イ 職員の育成

・事業団研修要綱に基づき事務局主催の「事業団研修」を実施しました。

・新型コロナウイルス感染防止のため、大半がWEBによる研修会となりましたが、概ね予定した研修は実施できました。昨年度、実施した先進施設の長期派遣研修は中止しました。

ウ 「働き方改革」の推進

・業務効率化のためのICT及びIOT導入検討を事務局主導で行いました。オンラインソフトを導入し事務局が管理しました。法人の会議、研修をWEBにより効率的に行うことができました。アフターコロナを見据えた活用も目途が立ちました。

・職員の心身の健康管理を図るため、定期健康診断やストレスチェックを実施しました。ストレスチェックでは486人が受検、高ストレス者に対しては医師の面談を勧めました。なお、高ストレス者の割合は、ほぼ全国平均の値でした。ストレス等により長期休暇を取得している職員に対し、復帰プログラムに沿った支援を実施しました。

・現場で起こる様々な事態や日頃の想い、改善提案についての意見交換をブロック単位で行うことを目指しましたが、全ブロックでの実施にはいたりませんでした。

・職員の処遇改善に向け、改善提案委員会で提案した項目について、事業所の進捗状況確認のための報告会を行いました。取り組みに事業所ごとで差異があるものの、総じて職員の意識に変化が見られました。

(2) 財務規律の確保

ア 監査の実施

経営の適正化などを図るため、監事及び会計監査人による経理業務の監査を行いました。

イ 計画的な予算執行

本部事務局において各施設の予算執行状況を毎月確認し、計画的な予算執行に努めました。

ウ コスト削減

物品の一括購入などによる、コスト削減に努めました。WEBによる会議、研修の実施により、旅費が大幅減となりました。アフターコロナの管理、運営面で継続可能なものは積極的に実施し、コスト削減を図ります。

(3) コンプライアンス体制整備

ア 監査の実施による内部統制

本部事務局、監事、会計監査人、内部監査室、外部評価者による監査、指導の受審による内部統制を

図りました。

下記内部監査及び外部機関による監査、指導の受審による内部統制を図りました。

実施機関	監査内容		
本部事務局	・各事業所の事業及び予算執行状況の確認、指導及び助言を実施しました。		
監 事	事業報告、計算関係書類及び財産目録に関する監査を受審しました。		
会計監査人	適正かつ公正な収入・支出の管理、財務情報の信頼性向上、業務の効率化、経営の適正化などの実現を図るため、経理業務の監査を受審しました。		
内部監査室	監査人の不在により監査室における執務はありませんでした。		
外部評価者	実施事業所	・松本あさひ学園 ・上伊那圏域障がい者総合支援センター ・障がい者福祉センター	福祉サービスの提供体制及び内容について評価を受審しました。

イ 顧問弁護士の配置

トラブルの未然防止や起きてしまったトラブルに迅速に対応するため、顧問弁護士に相談できる体制をとりました。主な相談内容は以下のとおりです。

- ・療養休暇の取得、職員採用方法について

ウ 個人情報保護

「個人情報保護規則」及び「特定個人情報等取扱要綱」「情報管理指針」に基づき、個人情報の適正な取り扱いに努めました。

エ コンプライアンスの推進

コンプライアンス推進のために、職員意識の啓もうのため積極的な資料の配信等に努めました。

法令や事業団の諸規程、事業所内ルールについて、職員一人ひとりがその意義をしっかりと理解し当事者意識を共有できるよう、各事業所の会議、研修会での周知を求めました。

(3) 利用者が安全で安心して生活できる環境整備

ア 新型コロナウイルス感染防止対策について、国及び県の通達を基に感染レベルに応じた対応を各事業所に周知しました。

イ 虐待防止、権利擁護の推進

- ・虐待防止、権利擁護に関する職員の意識強化を図る取組を積極的に推進しました。
- ・虐待防止、権利擁護に関する研修等を法人及び各事業所で実施しました。

ウ リスクマネジメントの強化

- ・各事業所で点検実施及び改善とマニュアル整備を行いました。また、市町村及び近隣地域との避難防災の協力体制を確認しました。

エ 防犯体制の確保

- ・関係機関や警察との連携、不審者対策、防犯設備の整備、防犯訓練を通じ意識の向上を図りました。

オ 苦情解決の適正運営

- ・今年度各事業所等に寄せられた苦情については以下の通りです。苦情に対しては、事業所の信適正を確保するため、関係者の間で情報をオープンにして「事業団における福祉サービスに関する苦情解決要綱」に基づき、速やかに対応しました。

○苦情等受付状況

区 分	件 数	内 容 (申出人)	共有方法
入 所	2	・利用者が来て、宗教の勧誘をする。(他利用者家族) ・収集した段ボールが散らかっている。(匿名)	

通 所	7	・職員の言葉かけの仕方（家庭） ・自主生産品（異物混入）に関すること（利用客） ・受託作業の製品取り違えについて（取引企業） ・活動中の様子や支援の状況をくわしく報告してほしい（家族） ・利用方法の説明が不十分（家族） ・自主生産品表示について（利用客） ・製品の品質に関すること（利用客）	職員会議 世話人会 議 ミーティ ング 係会 等
地 域 住 民	4	・利用者（グループホームからの通所者）と思われる人が敷地内を通り抜けていく。注意してほしい。(地域住民) ・利用者が車道にはみ出して歩いている。通行の妨げと危険なので本人に注意をしてほしい。(地域住民) ・平成 27 年に利用者から唾を吐きかけられた。そのときに西駒郷に連絡したが、対応が横柄で謝罪もなかった。謝罪すべきである。(地域住民) ・利用者の交通マナーができていない。道路の中央を歩くので仕方なく注意した。今までにも同様なことを伝えているが全く改善されない。適切に対応していないではないか。＊上記のうち 3 件は同一住民	
ｽﾎﾟｰﾂ 文 化	0	・苦情解決要綱に該当する案件なし 「顧客満足度調査」（無記名・毎月実施）を実施し、可能限り、改善に心掛けています。	
児 童	11	・日常生活についての要望（苦情解決実施要領に基づき対応）	
高齢者	4	・介護の仕方に対する不満（利用者） ・介護事故（けが等）の説明不足（家族） ・利用者の衣類・物品の紛失（家族） ・利用者に対する職員の不要な言動（家族）	
事務局	4	・事業所及び職員に関すること（利用者、住民、職員）	事業所へ 連絡

（４）西駒郷の整備検討について

西駒郷のあり方検討を軸にした整備検討会を事務局、西駒郷と県障がい者支援課とで行いました（２回）
保護者会の陳情等も踏まえ、引き続き関係機関と協議していきます。

（５）本部事務局の移転、伊那ゆいま〜る、ほっと上伊那の移転新築の開設準備

令和２年１１月、法人本部事務局を移転しました。長野市高田３６４番地１

令和３年４月の伊那ゆいま〜る、ほっと上伊那の移転に向け、建物建設のための準備を進めました。

長野県伊那市中央４６０５番２２に土地を購入し、両事業所の建物が完成しました。地域福祉のサービス拠点になるような事業運営を目指します。

（６）新事業所業務の開始

令和２年４月１日、法人合併した泉平ハイツ、新たに設置した松本児童家庭支援センターが事業を開始しました。

４ 公益事業の取組み

（１）修学資金等貸付事業

長野県からの委託事業である各種貸付事業の円滑な運営に努めました。

	令和元年度		令和２年度	
	貸付者数 (年度末) 人	中途辞退者 (年度末) 人	貸付者数 (年度末) 人	中途辞退者 (年度末) 人

介護福祉士修学資金貸付事業	156	1	149	4
社会福祉士修学資金貸付事業	5	1	8	0
実務者研修受講資金貸付事業	10	2	37	4
再就職準備金貸付事業	48	3	52	4
児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	5	0	6	0
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	33	3	26	3
保育士修学資金貸付事業	260	7	229	8
保育補助者雇上費貸付事業	6 法人	0 法人	3 法人	0 法人
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業	14	0	11	1
保育士就職準備金	9	0	13	0
未就学児を持つこどもの預かり支援事業利用料金の一部貸付事業	1	0	2	0

(2) 障がい者の芸術作品展開催事業

過去 4 年間、障がい者福祉センターで「ザワメキアート展」を開催してきましたが、台風 19 号災害復旧の関係もあり、今年度より本部事務局で事業を実施しました。

なお、最終年となる今年度は、集大成として県内 4 か所でまとめ展を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から、作品展は次年度に延期し、アーカイブ集の制作と次年度に向けた広報活動として「ザワメキ」キャラバンと称したパネル展示を県内 10 か所で行いました。

(3) 地域における公益的取組

社会福法人の責務として地域貢献活動事業を確実に推進できるよう下記の事業を実施しました。

○各事業所の地域貢献活動計画

事業所名	主な活動内容等
法人	・長野県社会福祉法人経営者協議会が主催する本事業の共催事業所として、ひきこもりの者や生活困窮者など生活に困っている方々に、緊急支援を提供
水内荘	・施設設備の開放（体育館、陶芸窯）・活動場所の提供
みのちGH C	・新型コロナ感染症対策のため体験受入せず
歩楽里	・新型コロナ感染症対策のため中止
八雲日和	・長野市北部地域社会福祉法人連絡会へ参画 ・地域復興イベント参加者の送迎、おやきの納品
小春日和	・地域の独居老人宅の安否確認、地域住民の憩いや交流のためのフリースペース提供
こぶし	・新型コロナ対策として地域の行事がすべて中止になったため、不参加
信濃学園	・地域防災の相互協力、独居者の受け入れ 新型コロナ対策として中止
松本あさひ学園	・新型コロナウイルス感染症拡大により地域交流は中止（奉仕活動（町会河川清掃）地域イベント参加（太鼓演奏））・教育関係等
松本ひよこ	・施設設備(駐車場)の開放、リサイクル活動
大北圏域センター	・養護学校高等部就労支援学習会への参加・講義
松本児童家庭支援センター	・長野県里親会連合会の事務局業務を受託し、役員会や県大会の事業補助を行った。 ・市町村が実施する、乳幼児健診のアフターフォロー事業への協力

ほっと上伊那	・地域の清掃活動、防災訓練参加、地域（箕輪町）の他法人と地域貢献活動の協力、イベント実施。防災情報交換会（地域ケア会議）参加 ・箕輪町総合福祉計画委員会協力
伊那ゆいま〜る	・地域清掃活動、伊那市との災害時応援協定による福祉避難所体制 ・古紙牛乳パック回収
ほっとジョイブ	・生活が困窮する家庭の子供等をサポートする団体への食材提供（伊那市社協、NPO団体等）
辰野就労センター	・地域のイベント中止（新型コロナウイルス感染症の影響） 他事業所へのラーメン販売（昼食）
辰野地域センター	・地域住民との交流イベント中止（新型コロナウイルス感染症の影響）
西駒郷	・駒ヶ根市「地域見守りネットワーク協力事業所」への登録 ・障がいのある方が自由にアート活動できるアトリエ「風と太陽」の開催
障がい者福祉センター	・地域スポーツ支援リーダーの養成と派遣
泉平ハイツ	・コロナ対策のため貢献活動中止

5 台風 19 号被災事業所について

令和元年の台風 19 号の浸水被害では、五つの事業所が被災しましたが、全ての被災事業所が令和 2 年の 6 月までに従来の事業を再開しています。

6 新型コロナウイルス感染防止対策について

昨年度に引き事業所内の感染防止対策、職員の行動規範を各事業所に要請しました。県内地域の感染者発生に伴い、国及び長野県の通達に基づいた対応の徹底を事業所に通知しました。新型インフルエンザ等対策特別措置法施行後は、事務局の指針として国及び長野県の要請に基づいた感染防止対策の徹底を事業所に図りました。終息には、長期化が予想されるため、引き続き「新しい生活様式」を軸に感染予防に努めます。

（１）就業規則の改正

感染症拡大防止のため必要のある時は、特別休暇（職員が監護する者が通う学校等の休業に休暇）及び就業を禁止することのできる規則の改正（正規・非正規共に）

（２）ＩＣＴの活用

利用者・職員への感染予防と業務の効率化を両立するため、ＩＣＴの活用を積極的に進めました。

（３）オンラインの活用

会議・職員研修・面会・職場説明会・職員採用試験面接を実施しました。

（４）テレワーク実施

支援、介護サービスを提供しない事務業務等、在宅にて実施しました。

（５）助成金

事業所における感染対策やサービス再開に向け、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業交付金等を活用しました。

助成金内容	金（円）	該当事業所数
緊急包括支援事業補助金	11,011,000	10
母性健康管理措置による休暇取得支援助成金	1,000,000	1
自主検査費用補助金	233,000	1
生産活動活性化支援事業穂所金	1,331,000	3
医療体制整備事業支援金	700,000	6
小学校休業等対応助成金	991,684	9
合 計	15,266,684	

(6) 発症者及び被検査者（PCR、抗原、抗体検査等）の状況

	利用者	職 員
発症者	0	0
濃厚接触者	3	1
検査受診者	21	118

* 検査受診者は、濃厚接触者の数も含まれます。

7 計画的な施設整備・メンテナンスの実施

安心・安全で快適な生活環境を維持するためメンテナンスや点検の徹底を図るとともに、老朽、故障個所の早期発見、早期対応による維持管理に努めました。

○施設整備及び住・作業環境等の改善状況

事業所	内 容	金 額 (円)	備 考
水内荘	屋根改修工事	23,027,400	老朽化
	男性デイルーム床張り替え修繕	521,400	安全対策
信濃学園	床暖房故障、配管修理 南寮居室改修	1,775,600	破損、老朽化
	管理棟トイレのシャワー設置	525,800	
ほっと上伊那	スプリンクラー設置工事	4,896,100	安全対策 消防法対応
伊那ゆいま〜る	土地購入	48,650,000	移転新築用
	設計監理料	24,651,000	
	新築工事	217,250,000	
	スプリンクラー工事	11,008,800	
	増工分	7,461,300	
	リフト設置	2,230,250	
	備品購入	7,689,000	
西駒郷	居室改修（強度行動障害者対応）	5,357,000	環境改善
	農場用トラクター	1,770,000	老朽化
	さくら4・6 寮玄関ドア更新（県指定修繕）	3,080,000	
障がい者福祉センター	ガス消防設備更新（県指定修繕）	7,881,500	安全対策
泉平ハイツ	介護ベッドの更新（40 台）	10,906,500	老朽化
	食器洗浄機の更新	1,694,000	

台風 19 号復旧関係（建物のみ）

事業所	内 容	金 額 (円)	備 考
障がい者福祉センター	災害復旧工事等	46,973,351	

8 働き甲斐のある職場づくり

(1) 職員処遇改善について

全職員を対象に実施した職員満足度アンケートに基づき「慢性化された時間外勤務の改善」「超過勤務の条件、基本線の統一化、事業所ごとの明確化」「職員通知、連絡の改善について」の3つについての改善提案が経営委員会に示されたことを受け、法人として速やかな対応に努めます。

9 提供するサービスの質の向上

(1) 虐待防止、権利擁護の推進

虐待防止、権利擁護に関する職員の意識強化を図るため、法人、ブロック、事業所ごとの研修会のほか、職員が虐待に繋がる言動や行為を自覚し、日ごろの支援を振り返るきっかけづくりとして「セルフチェック」を実施しましたが、いくつかの虐待及び疑わしい事案が発生してしまいました。ただちに県、市町村等の関係機関に通報するとともに原因の追究と再発防止に向けた改善策に取り組みました。

○虐待及び疑わしい事案

該当事業所	通告者	通告内容	結果		主な対策
伊那 ゆいま〜る	職 員	利用者の行動を暴力的に止め説教する。	虐 待	身体的虐待と判断されました。再発防止の取り組みを行うように指導を受けました。	全職員に対して、虐待防止研修の実施。事例の情報共有と対策案の話し合いを行いました。
ほっと上伊那	職 員	利用者の行動への世話人の対応が不適切である。（注意をしながら叩いてしまった）	虐 待	身体的虐待と判断され、世話人へのメンタルヘルスに関する研修、再発防止のための研修風通しの良い職場作りへの取り組みを行うよう指導を受けました	毎月の世話人会において人権擁護に関する解り易い学習会、アンガーマネジメント研修を行いました。 支援に対して具体的な意見を伝え易い方法の実施（セルフチェックシート利用） 利用者の状態に応じた支援体制の見直しを行いました。
ほっとジョイブ	匿 名	利用者への言動が不適切である。	指 導	虐待とは認定されませんでしたが職員への教育指導を再度行うよう指導を受けました。	職員会議等において人権擁護に関する学習会を行いました。職員への個別面談を行いました。
信濃学園	職 員	不穏な利用者の行動への対応が不適切である。	虐 待	処遇審査会で虐待と認定されました	職員による研修、マニュアル等の支援方法（虐待、身体拘束等）の再確認を行いました。
	匿 名	不穏な利用者の行動への対応が不適切である。	指 導	虐待事案ではないが、教育指導を再度行うよう指導を受けました。	職員による研修、マニュアル等の支援方法（虐待、身体拘束等）の再確認を行いました。

(2) 事故の予防・発生時の対応

ヒヤリ・ハット報告や利用者等の声などから、事故の予防、発生時の対応や再発防止に向け取り組みましたが、以下の事故が起きてしまいました。再度、要因等を検証、再発防止策を講じました。

○事業所の事故事例 事故につながる事例

事業所名	性 別	要 因	怪我の状況	主な対策
水内荘	女 性	居室にて転倒	骨折	転倒の原因は不明でしたが、床面が濡れているところがあったため、清掃後の確認、ふきとり等の徹底を図りました。
	男 性	日中活動 散歩中の転倒	右大腿骨 脛部骨折	歩行の際は利用者同士の間隔を開け、歩行不安な利用者に対しては常に注視することを徹底しました。
歩楽里	女 児	活動中に職員と 接触	右足親指 亀裂骨折 (ひび)	児童の活動時における安全面の留意事項について再確認を行いました。
歩楽里	女 児	車道への急な 飛び出し行為	無し	利用者の特性を踏まえた留意事項を職員で再確認しました。(児童の関心ごとと衝動的な行動)
松本 あさひ学園	女 児	分校休憩時間 の遊び中に階段 から転倒	軽度の打撲	検証や児童の聞き取り、事後のケアも含め再発防止を図りました。
松本ひよこ	男 性	異食	腸内内視鏡に よる異物除去	周辺の異食の可能性を思われるものの排除及び緊急時の対応についてや異食による危険性、利用者の行動特性を職員に再度周知し再確認しました。
	男 性	立ち上がり時の ふらつきで転倒	頭部強打によ る裂傷	移動の際の周辺の障害物の排除及び保護帽を作成し、再発防止を図りました。
ほっと 上伊那	男 性	夜間支援者の いないホームから 夜間外出した 利用者が転倒	骨折	安全のため、24 時間ホームへ移動しました。

10 各事業所の特記事項

(1) 長野ブロック

事業所名		特記事項				
1 水内荘		事業名	定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
		施設入所支援	40	40	39	△1
		生活介護	60	59	58	△1
		短期入所	6（併設型）			
		事業名	実績		備考	
		相談支援（一般）（件）	実績なし			
		相談支援（特定）（件）	計画 14 モニタリング 31			
		収支状況（円）		収入	支出	収支差額
			令和元年度	225,305,782	210,165,624	15,140,158
			令和2年度	239,445,063	234,779,047	4,666,016
	サービス業務	・新型コロナ対策として、基本的な予防策の徹底や感染警戒レベルごとの活動指針に沿った活動を行いました。とりわけ、「食」の充実を図ったり、リモート面会等を実施して利用者のストレス軽減に努めました。班単位の季節行事を充実させたり、地元商店に協力してもらい、訪問販売を実施しました。 ・「ものづくり班」の合同作品(貼り絵『花火』)は県文化芸術祭で「特別賞」となり、「第6期長野市障害福祉計画」の冊子の表紙を飾ることとなりました。 ・昨年度に引き続き利用者の高齢化・重度化に伴い、活動内容や職員体制の見直しを図ったり、利用者の一層の健康管理に努めました。				
	管理業務	・泉平ハイツとの合同研修並びに豊野区を含めた共同防災訓練はコロナ禍で中止となりました。 ・強度行動障害支援者養成研修会に2名が参加、資格取得者が8名となり、支援の向上と介護報酬の増収につながりました。 ・管理棟、居住棟、体育館の屋根の大規模改修工事を無事に完了しました。 ・令和元年の台風19号で被災した6法人で結成した「連絡会」等を通じて被災経験を活かしたBCP(事業継続計画)作成に次年度も取り組みます。 ・災害時に備え、発電機1台、防災頭巾100個、非常食1日分を調達しました。 ・コロナ感染対策として感染者が出た場合を想定してガウンテクニックやゾーニング等の実施訓練を行いました。				

事業所名	特記事項				
	事業名	定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
2 みのち グループ ホーム センター	共同生活援助	60	62	52	△8
	収支状況（円）		収入	支出	収支差額
		令和元年度	139,719,572	129,293,886	10,425,686
		令和2年度	152,038,636	156,730,065	△ 4,691,429
	サービス業務	・高齢利用者の生活向上や介護保険サービスの利用についてケアマネとの連携・支援した結果、過去最多6人の利用者が特養や有料老人ホームへ移行できました。 ・ホームごとに季節の貼り絵などの共同作品制作に取り組んだり、出前を取っての食事会やミニドライブで気分転換を図ったりと、コロナ禍でも生活が充実するよう配慮しました。 ・豊野駅近くの新設ホーム利用者が自分たちから挨拶したり近くの商店を利用したりすることで、近隣住民との新たな関係を築くことができました。			
	管理業務	・第3次長期構想に基づいて建物の老朽化が進んでいるホームを2棟閉鎖しました。 - また、古い電気器具については最新の節電機器への切り替えを進めました。 ・防災用のランブ購入、非常食の備蓄を行いました。梅雨と台風の時期に各1回水内荘へ避難の実地訓練をし、避難行動自体はスムーズであることが確認できました。 ・利用者の緊急時に対応するため、職員間でSNSを利用した情報共有を図り、緊急通院等に繋がりました。			

事業所名	特記事項（ ）は年度の登録者数				
	事業名	相談件数（件）	相談人数（人）	件数対前年比（％）	人数対前年比（％）
3 歩楽里	相談支援（特定）	545	194	113.7	111.4
	相談支援（障害児）	78	28	95.1	87.5
	相談支援（一般）	1			
	事業名	定員／日	年度当初登録児	年度末登録児	登録児増減
	放課後等デイサービス	10	10（35）	10（38）	（2）
	収支状況（円）		収入	支出	収支差額
		令和元年度	47,576,664	48,022,998	△446,334
		令和2年度	52,982,250	50,012,644	2,969,606
	サービス業務	・指定相談支援事業は、特定事業所加算（Ⅳ）の指定や各種加算等を取ることで、収入の増加につながりました。 ・放課後等デイサービス事業は、9名が新たな利用につながりました。 ・台風19号により被災した方々の生活再建に向け、ささえあいセンターや保健師などの関係機関と連携しながら相談に応じました。次年度も訪問、支援会議への参加など継続して行います。 ・年3回予定していたふらりレクリエーションは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止としました。			
	管理業務	・歩楽里の研修として権利擁護研修を実施し、日ごろの支援を振り返り、活動内容について確する場を週1回設けました。不安や疑問などをタイムリーに職員間で共有することが出来ました。 ・水防計画の見直しとともに、水害を想定した避難訓練を実施し、安全確保の方法や避難場所等の確認を行いました。 ・利用者の健康管理について、家庭、学校等と連携し、健康チェック表を活用するなど適切に対応が図れるよう努めました。また、事業所内で感染症予防の学習会を開催しました。			

事業所名	特記事項 () は年度途中での定員変更後の人数				
4 八雲日和	事業名	定員 (人)	年度当初	年度末	定員との差異
	生活介護	20	17	16	△ 4
	就労継続支援 B 型	20	22	22	2
	収支状況 (円)	年度	収入	支出	収支差額
		令和元年度	73,632,574	75,835,331	△2,202,757
		令和 2 年度	177,895,409	176,918,954	976,455
	サービス業務	・生活介護事業の利用者 1 名が介護保険サービスの移行に伴い退所されました。 ・旅行や外出行事が難しいことから、辰野障がい者就労支援センターより「ぬくもり号」、山ノ内町より「きら倶楽部」を招き昼食会を行いました。 ・就労継続支援 B 型では、体調不良により 1 名が退所し、養護学校を卒業した 1 名があらたに利用を開始しました。 平均工賃 21,702 円（前年比 + 2,785 円） ・台風 19 号による被災から 6 月中旬に「うどん・おやき工房さくら」の活動を再開し、7 月上旬にうどん・おやきの製造・販売を再開しました。 ・長野市北部地域社会福祉法人連絡会に参画し、施設の理解と地域活性化に向けた活動を行いました。			
	管理業務	・新型コロナウイルス感染症対策に細心の注意を払い、資格取得を目指す学生 6 名を受け入れました。また、生活介護 2 名、就労継続支援 B 型 3 名の養護学校実習生を受け入れました。 ・長野ブロック内事業所の連携強化、効率的な運営を推進するため、定例代表者会議及び新型コロナウイルス対策臨時代表者会議を随時開催し、連携協力を深めました。 ・台風 19 号災害の教訓を生かし、新たな「洪水時避難確保計画」を長野市に提出しました。洪水時の安全確保のため避難場所を豊野西小学校から水内荘に変更しました。より安全な避難経路の確認、避難訓練の充実を図ります。			

事業所名	特記事項				
5 小春日和	事業名	定員 (人)	年度当初	年度末	定員との差異
	就労移行支援	6	5	6	0
	就労継続支援 B 型	14	20	19	4
	就労定着	—	0	0	—
	収支状況 (円)	収入	支出	収支差額	
		令和元年度	79,401,676	70,054,105	9,347,571
		令和 2 年度	82,020,132	90,240,942	△ 8,220,810
	サービス業務	・就労移行支援では、2 名が一般就労しました。平均工賃は、12,947 円（前年度比 + 2,555 円）でした。施設外作業での収入が増えたことが理由です。（農福連携） ・就労定着支援では、一般就労した利用者と保護者を対象に、6 ヶ月後の利用に向けて事業内容や支援についての説明を実施しました。 ・就労継続支援 B 型では、1 名が一般就労しました。新規作業受入は 4 件でした。（農福連携作業 3 件、賛育会清掃）平均工賃 10,498 円（前年度比 + 246 円）工賃増の理由は施設外作業での収入が増えたことによります。（農福連携）			
	管理業務	・台風 19 号での被災を教訓に、より実態に即した「避難確保計画」を作成しました。避難場所を豊野西小学校から水内荘に変更しました。より安全な避難経路の確認、避難訓練の充実を図ります。また、公共交通機関を利用する方については、警報にかかわらず、早期帰宅を行います。			

事業所名	特記事項 ()は登録者数				
6 長野市 地域活動 支援センタ ー こぶし	事業名	定員 (人)	年度当初	年度末	定員との差異
	地域活動支援センター	15	15 (14)	15 (13)	(△2)
	収支状況 (円)	年度	収入	支出	収支差額
		令和元年度	10,363,149	10,363,149	0
		令和2年度	10,812,787	10,758,354	54,433
	サービス業務	・台風19号被災以降利用休止していた在宅利用者について定期的な状況把握に努め、9月の「かがやきひろば豊野」での事業再開時、スムーズな利用再開に繋がりました。 ・障がい特性に加え、高齢化に配慮した活動を実施しました。個別対応が必要な利用者の増加により、少人数グループであっても十分な対応が出来ない時がありました。《重》 ・食生活が心配な独居在宅利用者にグループホーム利用等を勧めたり、就労系事業所の利用希望のある在宅利用者を他法人の就労系事業所利用に繋げました。			
	管理業務	・洪水時の避難確保計画を改訂し、それに沿った避難訓練を実施しました。利用者の体力等を考慮し、徒歩で伊豆毛神社へ避難する経路から車で水内荘に避難する経路に改善しました・緊急時に活用できるよう、緊急時安心カードの整備や保健師との連携を図りました。			

(2) 松本ブロック

事業所名	特記事項				
7 信濃学園	事業名	定員 (人)	年度当初	年度末	定員との差異
	施設入所支援 (児童)	30	29	29	
	施設入所支援 (成人)		0	0	
	生活介護 (成人)		0	0	
	事業名		利用人数 (人)	実績	
	短期入所	空床型	10	26 日	
	日中一時支援		15	93 時間	
	収支状況 (円)	年度	収入	支出	収支差額
		令和元年度	251,430,366	237,708,386	13,721,980
		令和2年度	253,215,807	270,049,091	△ 16,833,284
	サービス業務	権利擁護：規定に基づき権利擁護の充実をはかりました。虐待の外部通報1件、内部通報1件がありました。1件は県の処遇審査部会で虐待と判断され、これを受けて虐待や身体拘束について所的に再検討をする機会を設けました。 地域生活移行の促進：個別支援計画に沿って、関係機関と連携して、地域生活移行に向けた取り組みを進めました。2名の高校卒業生のうち、1名の地域生活移行が実現しました。			
	管理業務	建物設備等の修繕：新型コロナウイルスへの対応として管理棟トイレにシャワーの増設、南寮静養室の給湯器の修繕をしました。また、南寮居室の床暖房漏水の改修工事をしました。 マニュアルの見直し：「利用者支援業務マニュアル集」を、より使いやすい形に見直す作業に組み込みました。《新》 第3期指定管理の受託：県に申請した第3期指定管理を受託が決定しました。《重》			

事業所名		特記事項				
8 松本 あさひ学園	事業名		定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
	児童心理治療（入所）		30	19	14	△16
	児童心理治療（通所）		5	2	2	△3
	収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額	
		令和元年度	203,214,639	194,397,869	8,816,770	
		令和2年度	203,553,143	240,605,909	△ 37,052,766	
	サービス業務	アフターフォロー：家庭支援専門相談員を中心に行いました。（52 人 302 件） 権利擁護：児童への定期的な聴き取り（10 回）、外部講師による研修（3 回）を行い意識向上に努めました。 地域との連携強化：学園の持つ社会資源を地域還元するため、講師等の派遣（31 回）を行いました。「ながの子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」に率先して協力しました。				
		管理業務	経営管理：社会的養護関係施設における福祉サービス第三者評価や福祉サービス評価委員会を受審し、運営の透明性の確保に努めました。 危機管理：階段での転倒事故があり、危険個所のチェックを行い再発防止に努めました。 苦情解決の適正運営：児童からの苦情等に対しては、苦情解決実施要領に基づき対応しました。本年度は 11 件の苦情（要望）が寄せられました。いずれも第三者委員への報告等はありませんでした。			

事業所名		特記事項				
9 松本 ひよこ	事業名		定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
	生活介護		21	21	21	0
	就労継続支援 B 型		18	18	18	0
	共同生活援助		23	22	23	0
	事業名		実績		備考	
	相談支援（特定）		計画 18 件、モニタリング 36 件			
	相談支援（一般、障がい児）		実績なし			
	収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額	
		平成元年度	160,618,547	158,253,176	2,365,371	
		令和 2 年度	163,021,785	158,541,241	4,480,544	
	サービス業務	・就労継続支援 B 型のパン販売は、新規販売先を 3 件獲得しましたが、コロナ禍の影響で全体収益は減少しました。（平均工賃額 11,095 円・前年比約 4 6 %減） ・重度包括事業では、アセスメントにより利用者に適した日中活動を試行的に開始しました。 ・地域生活移行を目指す取り組みでは 2 名の体験を受入れ 1 名が入居しました。（満室） ・市町村及び圏域障害者支援センターと利用者の支援や支給内容の協議を行い 1 名の支給加算が増額されました。（松本市）				
	管理業務	・新たに障がい特性に重点を置いたアセスメント研修を実施しました。《新》 ・新規採用した非常勤職員に対して事業所独自の O J T を実施しました。《重》 ・事業所内で業務安定化のための検討委員会を設置し、松本ひよこあり方委員会として検討を始めました（年 2 回） ・転倒による負傷、異食による異物除去の事故が発生しました。（2 件）				

業所名		特記事項			
10 大北圏域 障がい者 就業・ 生活支援 センター	事業名	相談件数（件）	相談人数（人）	件数対前年比（％）	人数対前年比（％）
	障がい者就業・生活支援センター	1,457	221	103	87
	収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額
		令和元年度	20,105,494	19,521,912	583,582
		令和２年度	20,262,028	19,903,886	358,142
	サービス業務	障害者就業・生活支援センター事業（国：雇用安定等事業） ・地域で暮らす障がい者の就業に向けた相談支援、一般就労に向けた支援を実施しました。 （職場実習 19 件 就職者 25 人） 求職者と在職者の交流活動を実施しました：悩み相談ボランティアサークル 3 回実施 ・企業で働く障がい者の職場定着に向けた相談支援 職場定着に向けた支援を実施しました：職場定着率 6 ヶ月後 92.6% 1 年後 70.4% ・障がい者雇用を行っている、検討している企業の相談支援 中小企業障がい者担当者支援活動を実施しました。求職者、在職者の生活面における支援を実施しました：受診同行 行政手続き同行等 ・地域生活移行を目指す取り組み グループホーム見学・体験の同行や公共住宅入居に向けた手続きの同行を行いました。			
	管理業務	・効率的・自立的な施設運営では、支援先への直行、直帰や WEB 会議により移動時間を削減しました。また、センター外でリモート支援や会議が行える環境を整備しました。 ・コロナ禍のため、可能な範囲で対面での支援から電話、メール、リモートでの支援に変更しました。また、職員間の接触を減らすためセンター内での勤務時間を調整しました。			

事業所名		特記事項			
11 松本児童 家庭支援 センター	事業名	相談件数（件）	相談人数（人）	件数対前年比	人数対前年比
	相談支援事業	1,104	40		
	支援事業	335			
	指導委託		3		
	合計	1,439	43		
	収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額
		令和２年度	27,969,075	15,050,944	12,918,131
	サービス業務	<児童福祉事業> ・相談援助：個別相談実人数 202 人 延相談件数 1,104 件 ・市町村支援：乳幼児健診のアフターフォロー事業 19 回、市町村の求めに応ずる事業 8 回 ・指導委託措置の受託：児童相談所からの委託による指導 3 件、対応延数 333 回 ・里親支援：里親サロン参加・里親研修会講義・長野県里親会連合会事務局業務等の支援業務 2 5 3 回 ・関係機関との連携：他機関連携 3 0 回 支援者会議 1 2 回 関係者会議 1 3 回			
	管理業務	<人材育成> キャリアアップによる職場の活性化 ・職務に関連した専門資格の取得の推進：公認心理師資格取得のための現任者講習を WEB 講習で受講しました。			

	<効率的・自立的な施設運営> 業務安定化、効率化への取り組み ・業務実績を確実にするため、多方面の相談支援及び事業支援を実施し、当初の目標を上回ることができました。 <経費削減に向けた取り組み> ・相談援助記録システムの効率的利用による時間外勤務の削減を図りました。
--	---

(2) 上伊那北部ブロック

事業所名		特記事項 () は年度途中での定員変更後の人数			
12 ほっと 上伊那	事業名	定員 (人)	年度当初	年度末	定員との差異
	共同生活援助	125	128 (117)	118	△7
	事業名	実績 (登録数:時間)		備考	
	居宅介護	70	1,364		
	行動援護	14	800,5		
	移動支援	106	3953,5	計 6,118 (時間)	
	収支状況(円)	年度	収入	支出	収支差額
		令和元年度	369,447,014	364,971,384	4,475,630
		令和2年度	375,049,059	370,387,865	4,661,194
	サービス業務	・上伊那 6 市町村で 2 3 ホームと居宅介護事業所を運営しました。平均年齢は、55.9 歳、介護保険利用者は、6 人でした。退所者は 4 人（他施設 2 人、地域移行 1、死去 1）新入所者は 5 名でした。（他施設 3、地域 2） ・新型コロナウイルス感染症対策のため旅行など本人部会活動は未実施。外泊等交流も減少しました。新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、各ホーム誕生会や地域行事参加、ドライブ等外出を実施しました。			
	管理業務	・「グループホーム再編委員会」による組織体制の再構築を行いました。（8 回）老朽化と県を取り壊し計画対象となっていた 1 件を閉鎖、消防法や利用者の経済状態に応じた居住調整、老朽化や災害時対応を含めた今後の方向性を検討しました。 ・新型コロナウイルス感染症対策では、圏域に出される情報をもとに定期的に感染症対策会議を実施、その都度利用者、世話人に所の感染対策を発信しました。 ・虐待事案が 1 件発生しました。同僚世話人から、利用者を注意した世話人の行動(叩いた)について相談があり、市町村に虐待相談を行った結果、身体的虐待と判断されました。風とおしの良い職場作り、メンタルヘルスに関する研修、再発防止のための研修について改善を行うよう指導され、改善計画に沿った取り組みを実施しました。			

事業所名		特記事項				
13 伊那 ゆいま〜る		事業名	定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
		生活介護	15	13	15	0
		就労継続支援 B 型	20	26	24	4
		事業名	実績		備考	
		相談支援（特定）	計画 22 件、モニタリング 2 件		（自施設 24）	
		収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額
			令和元年度	67,336,845	71,629,697	△4,292,852
			令和 2 年度	387,703,625	387,958,922	△ 255,297
	サービス業務	・生活介護事業では、古紙回収等の生産活動、音楽、運動、創造的活動等を曜日ごとに提供しました。入浴サービスでは、延べ 6 0 1 人が利用し、殊にタイムケアで入浴利用されている方が 2 人が 3 8 回利用しました。利用者 2 人が増員しました。 ・就労継続支援 B 型事業では、軽作業等受託作業と縫製・木工の自主生産を行いました。 ・平均工賃額 12,898 でした。（前年 14,402 円）全体収入は 14 の%減、工賃は 10%の減収でした。 ・新たな利用者が 1 人増えましたが、3 人が利用を中止しました。 ・計画相談では、24 件のサービス等利用計画書案を作成しました。 ・虐待案件が 1 件発生しました。再発防止のための研修を実施しました。				
	管理業務	・事業所の移転新築に向けて下記のとおり取り組みました。 6 月：設計監理業務の入札を行い、(株)城取建築設計事務所が落札（約 2,465 万円） 9 月：伊那市中央 4 6 0 5 - 2 2 の県有地を購入（4,865 万円）10 月：本体工事入札を行い、西武建工株式会社が落札増工分含めて約 2 億 3573 万円）12 月、備品入札を行い、(株)小椋が落札（約 769 万円）本体工事は 10 月 20 日起工式、令和 3 年 3 月 29 日に引越し、3 月 31 日に引き渡しが行われました。				

事業所名		特記事項				
14 ほっと ジョイブ		事業名	定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
		生活介護	20	18	21	3
		就労継続支援 B 型	20	23	23	0
		短期入所				
		事業名	実績（件）		備考	
		相談支援（特定）	計画 42	モニタリング 3		
		収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額
			令和元年度	93,227,597	89,429,865	3,797,732
			令和 2 年度	89,368,519	86,227,525	3,140,994
	サービス業務	・生活介護事業では、コロナ禍の活動に対応するため、活動メニューの検討工夫を重ね、ゆったりしながら充実した時間が過ごせるよう努めました。新たに 3 名が利用を開始しました。 ・就労継続支援 B 型事業では、製造、販売やイトイン営業で地域住民との交流や利用者の就労意欲換気に繋がりました。コロナ禍の販売自粛などの影響が大きく思うような営業活動が行えませんでした。年度末になり補助金の活用で広報を行ったところ地域の方の来店者が増えました。月平均工賃額 20,389 円（昨年比-5,289 円）				

		・短期入所事業は、単独型 定員 4 名で令和 2 年 12 月事業開始しました。新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、来年度に実績を積みしたいと思います。 ・ほっとマルシェは利用者のお楽しみイベント「ほっとミニマルシェ」として開催しました。(9/26)
	管理業務	・虐待を疑われる通報が一件ありました。市町村の判断では虐待にはあたらないとされました。 ・南箕輪村との災害時における要援護者受け入れに関する協定を締結しました。また、福祉避難場所設置訓練にも参加しました。

事業所名		特記事項				
15 辰野町 障がい者 就労支援 センター		事業名	定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
		就労継続支援 B 型	20	22	23	3
		事業名	実績（件）		備考	
		相談支援（特定）	計画 19	モニタリング 5		
		収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額
			令和元年度	50,267,277	49,220,587	1,046,690
			令和 2 年度	47,798,027	46,433,363	1,364,664
	サービス業務	・就労継続支援 B 型事業の自主生産は、新型コロナウイルス感染症対策として、対面販売がファックスによる注文販売に変更しました。季節に応じたギフトセットを新たに販売しました。 ・多くの販売イベントが中止となったことから、ぬくもり号による移動販売も減少しました。反面、市町村役場や事業所からの販売依頼が増えました。（出店：53 回／年） ・受託作業は、新型コロナウイルス感染の拡大により、企業からの安定的な作業量の確保が難しく、収入は減収しました。自主生産及び受託作業の収入が減収し積立金を工賃へ補填しました。平均工賃額は 20,620 円（前年比－5,989 円）平均利用率は、19.4 人でした。				
	管理業務	・辰野町と協議中の移転先の選定や事業内容の再検討については、コロナ禍の影響もあり、思うような相談ができませんでした。 ・避難訓練：地震と水害を想定した訓練を地域活動支援センターと合同で実施しました。非常災害対策計画書及び洪水時の避難確保計画、防災計画等の見直しを行いました。				

事業所名		特記事項（ ）は登録者の数				
16 辰野町 地域 活動支援 センター		事業名	定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
		地域活動支援センター	20	9（16）	8（14）	△ 6
		収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額
			令和元年度	13,487,923	13,170,347	317,576
			令和 2 年度	13,313,375	13,258,274	55,101
	サービス業務	・地域活動支援センターの作業的な活動は、ボカシ作り、ウエス作り、受託作業（アルミ缶回収等）等を行いました。ボカシ作りは利用者が製造工程に携わることが難しくなったため本年度で終了しました。余暇的活動では、絵画や工作等創作活動を行い、町地域福祉センターや喫茶店等へ展示を行いました。平均工賃額は、843 円でした。（昨年比△893 円） ・地域定着支援の家族との意見交換会、町障害福祉サービス事業所と協働した音楽会は新型コロナウイルス感染症対策により実施できませんでした。				
	管理業務	・辰野町保健福祉課との連絡会を 1 回（2 月）実施しました。 ・地震と水害を想定した避難訓練を就労支援センターと合同で実施しました。非常災害対策計画書及び洪水時の避難確保計画、防災計画等の見直しを行いました。（辰野就労合同）				

(4) 上伊那南部ブロック

事業所名		特記事項				
17 西駒郷	事業名		定員（人）	年度当初	年度末	定員との差異
	駒ヶ根	施設入所支援	93	86	85	△8
		生活介護	125	122	122	△3
		自立訓練	10			－
		就労継続支援 A 型	20	14	13	△7
	宮田	施設入所	30	11	10	△20
		生活介護	20	17	17	△3
		就労移行支援	6	1	1	△5
		就労継続支援 B 型	34	41	42	8
	事業名		実績（件）（％）			
	相談支援（一般）		地域移行支援 0		地域定着 3	
	相談支援（特定）		計画 126 ： モニタリング 265		前年度比（％） 71.6 : 180.3	
	駒ヶ根支援事業所					
	収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額	
		令和元年度	778,029,078	752,347,639	25,681,439	
		令和2年度	787,647,436	777,033,467	10,613,969	
	宮田支援事業所					
	収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額	
		令和元年度	190,443,971	188,171,773	2,272,198	
		令和2年度	192,500,837	183,723,952	8,776,885	
	サービス業務	・コンチネンスケアの考えをベースに排泄ケアの改善に取り組みました。（研修1、検討会3） ・わーく西駒では、豆腐加工品の開発・製造・販売に取り組むなか、県の「民間専門技術者活用支援事業」を活用し、専門店の店主を招き3日間技術指導を受けました。 ・「わーく西駒」就労継続 A 型 令和2年度平均工賃 84,519 円（前年比 92.7%） ・「わーく宮田」就労継続 B 型・就労移行支援 同上 20,393 円（前年比 96.5%） ・地域生活移行者は1人でした。（駒ヶ根市内の事業団のグループホーム） ・昭和54年に発足した「下平区・西駒郷・こころの医療センター駒ヶ根連絡協議会」のあり方について三者で協議、見直しを行うこととなり、新たな連絡協議会を発足する予定です。 ・地域の障がいのある方が自由にアート活動できるスペース、アトリエ「風と太陽」の活動（全6回、延べ参加者 66 人）				
管理業務	・外部講師による「行動障害者支援研修」を実施しました。強度行動障害者を担当している職員 13 人が参加しました。 ・日常生活や社会生活に関し自らの意思が反映された生活を送ることができ、可能な限り意思決定できるよう支援する仕組みづくりのため、「西駒郷意思決定支援ガイドライン」を策定しました。 ・駒ヶ根支援事業部生活介護（駒ヶ根日中支援課）を平均利用者数の推移や今後の利用見込みを踏まえ、定員を 140 人から 125 人に変更しました。 ・利用者が理解しやすい共通の言葉や文字の策定について、利用者も職員も共通し使える平易な言葉を「西駒郷の辞書」として策定しました。 ・新型コロナウイルス感染症については、「西駒郷新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を策定し対応しました。また、利用者で濃厚接触者・感染者が発生し施設内で対応する場合の					

		職員を選し、着用する防護服の着脱等実践的な研修を対象者全員に実施しました。
--	--	---------------------------------------

事業所名		特記事項			
18 上伊那圏域障がい者総合支援センター	事業名	相談件数（件）	相談人数（人）	件数対前年比（％）	人数対前年比（％）
	相談支援	17,697	678	133.9	99.9
	前年度	13,212	679		
	就業・生活支援C	2,383	361	85.5	76.6
	前年度	2,787	471		
	収支状況（円）	年度	収入	支出	収支差額
		令和元年度	85,586,036	84,370,319	1,215,717
		令和2年度	89,471,506	84,553,105	4,918,401
	サービス業務	＜基幹相談支援センター＞ 圏域の相談支援事業者に対する人材育成の支援として、「強度行動障害の特性と理解を深める」研修会を2回実施しました。また、相談支援専門員初任、現任研修のフォローアップ研修を4回実施しました。 ＜障がい児等療育支援事業＞ 巡回等相談機能の充実を進め、専門職員（OT/PT/ST等）を派遣講師として確保し、特別支援学校や福祉事業所への講師派遣を行いました。起立台の固定位置の改善によって、姿勢だけでなく表情や痛みの軽減に繋がったという成果を導けました。 ＜障がい者就業・生活支援センター事業＞ 在職者交流会は4回予定しましたが3回のみの実施となりました。働く上での悩みや愚痴を語れる場として参加者からの好評価を得ました。SSTの手法を用いた就労移行支援事業所等に向けた出前講座を6回予定しましたが5回の実施となりました。日常の中で戸惑いを覚える場面を切り出し、実際場面への対応方法等を具体的に体験するという実感が持てたという参加者の感想が得られました。			
	管理業務	＜外部評価の活用＞ 圏域8市町村からの事業評価を基に事業所運営の指針としていますが、計画相談件数が増大し基幹センター業務を圧迫している現状について、市町村課長会議等で協議を重ねました。抜本的な解決には至らないものの、正確な現状を共有できたことで解決に向けた協議に向けられるものと期待しています。			

（５）障がい者福祉センターブロック

事業所名		特記事項			
19 障がい者福祉センター	事業名	前年度実績（人）	本年度実績（人）	対前年比（％）	備考（人）
	サンアップル	68,014	40,515	59.5	年間利用者数 ＜2年度＞ 49,767 ＜元年度＞ 86,832
	サンスポートながの	（上記に含む）	（同 左）		
	サンスポート駒ヶ根	9,627	6,062	62.9	
	サンスポートまつもと	5,040	1,480	29.3	
	サンスポート佐久	4,151	1,710	41.1	
	合 計	86,832	49,767	57.3	
	収支状況（円）	年度	収 入	支 出	収支差額
		令和元年度	332,828,981	315,254,265	17,574,716
		令和2年度	323,434,017	315,428,448	8,005,569

	文化・スポーツ支	<文化事業> 長野県障がい者文化芸術祭を9月下旬サンアップルにて作品展のみ実施。10月から全作品をホームページで鑑賞できる「WEB展示会」を開催しました。 <スポーツ事業> 緊急事態宣言下の閉館時は、ホームページ上で利用者等に向けて、運動の機会、継続のため、ストレッチ等の映像を配信しました。各サンスポートは、コロナ禍のため対面式の外部支援は減少しました。運動を継続するために、各団体の求めに応じた「運動処方箋（運動プログラムを映像、資料にて提供）」を実施しました。
	管理業務	<新型コロナウイルス感染症対策> 県の要請により令和2年3月から6月まで一部又は全施設の営業を休止。特定天井改修工事が完了した8月1日より全施設の営業を再開。入館時の検温・体調チェック、手指消毒や感染レベルに応じた利用制限を実施しました。各サテライトも地域の感染レベルに応じた営業を行いました。 <防災安全管理> 新たに「障がい者福祉センター自衛水防組織行動要領」の策定と浸水被害を想定した水防訓練（土のう・止水版の設置訓練）を4回実施しました。 <災害復旧修繕> ピット内配管保温材取替、テニスコート表層修繕、陸上競技場表層修等、災害復旧費として45,973千円を執行し、安心・安全な施設の回復・維持に努めました。（県費）

（6）泉平ハイブロック

事業所名		特記事項		* 令和元年度は合併前の統計		
20	事業名		定員（人）	年度末数(人)	前年同期（人）	前年比（％）
	介護老人福祉施設		74	67	72	93.1
	短期入所生活介護		16	延 4,432	延 4,914	90.2
	通所介護		24	延 4,446	延 5,111	87.0
	認知症対応型共同生活介護		18	18	18	100.0
	居宅介護支援事業		35	35	35	100.0
	収支状況（円）		年度	収 入	支 出	収支差額
			* 令和元年度	716,712,796	683,598,773	33,114,023
			令和2年度	718,370,842	494,382,212	223,988,630
	泉 平 ハ イ ツ	サービス（高齢者介護）業務	＜施設・居住系サービス＞（介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護） コロナ禍の中で、家族等との面会停止、各種行事の縮小など利用者の日常生活を大きく制限したことからストレスの増大が見られたため、リモート面会や趣味を生かせるクラブ活動の開催、楽しみを持てるよう工夫した食事の提供を行うとともに日々の健康管理に留意したサービスの提供をしました。 ＜通所、短期入所サービス＞（通所介護、短期入所生活介護） 在宅生活の継続ができるようレクリエーションや生活リハビリを通じて身体機能の維持を図るサービスの提供をするとともに家族との連携を密にし、相談への対応や安楽な在宅生活への助言など家族支援に努めました。 ＜居宅介護支援事業＞ 地域に暮らす高齢者が、可能な限り自宅において日常生活が営むことができるよう、個々の有する能力に応じた適切なサービスを受けるための支援をしました。			
管理業務		・本部主催の研修に参加した職員から、新たな視点で考えるようになりました。また、職種の違う他施設の職員との交流により視野が広がったとの感想があり合併による効果の一つとなりました。 ・居宅サービス（デイサービス、ショートステイ）について、コロナ禍における利用控えなどもあり利用者が減少傾向で推移したため、ケアマネージャーなどとの連携により利用希望者を把握し、利用者の確保に努めました。				

<資料－１>

○事業所の防災・防犯に対する取組状況

事業所名	防災訓練	防犯訓練等	特記事項
水内荘	避難・消火・通報訓練		夜間想定避難訓練実施
みのちGHC	避難・通報訓練 水害による避難		防災機器定期点検 水害対策マニュアル作成
歩楽里	避難・消火訓練	防犯セキュリティーの設置	水害時避難訓練実施 洪水時の避難確保計画提出
八雲日和	避難・消火・通報訓練 水害による避難	対応方法の確認	救命救急講習会実施(毎月)
小春日和	避難・消火・通報訓練	防犯セキュリティーの設置	器具類の安全点検
こぶし	避難・消火訓練	対応方法の確認	他入居団体と合同で実施
信濃学園	避難訓練 (12回)	防犯訓練、感染症派生 により中止	地域防災懇談会（羽田学院及び 地元 20 区町会
松本あさひ学園	避難・通報・消火訓練	防犯カメラ、玄関等施錠 の徹底 防犯講習	旭町庁舎、あさひ分校との合同訓 練の実施、食料品の備蓄、警察に よる防犯講習会の実施、災害対応 グッズ購入（ストーブ、発電機等）
松本ひよこ	避難・誘導・通報・消火 訓練	対応方法の確認	消防署、防災設備業者の立ち合 いで訓練実施（1回） GH 常会へ情報提供
ほっと上伊那	避難誘導・通報訓練 全ホームの消防設備点検 実施	対応方法の確認	洪水浸水想定区域（6 件）避難 確保計画の提出（関係市町村） 地域関連施設との連携会（2 件）
伊那ゆいま〜る	避難・通報・消火訓練	対応方法の確認	浸水想定区域内での避難訓練 は、伊那市社会福祉協議会が行っ たものの見学
ほっとジョイブ	避難・消火訓練	警察官による講習	防犯カメラの設置、24 時間体制監 視体制、南箕輪村との福祉避難 所設置訓練
辰野町就労・ 地活センター	避難・通報訓練	対応方法の確認	洪水時の避難確保計画の見直し
西駒郷	総合防災訓練、避難・通 報・消火訓練 (12回)	非常通報装置、外部監 視カメラ、防犯灯の設置	災害発生時の消防団の協力体 制、地区の防災訓練への参加につ いて（宮田村大久保区）
障がい者福祉 センター	障がい者福祉 C	総合防災訓練 水防訓練	対応方法の確認 土嚢・止水版設置方法の確認
泉平ハイツ	避難・通報・消火訓練	防犯カメラ（玄関）	豊野区、水内荘との合同防災訓 練（2 年度はコロナ対策のため中 止）

○防災協定の締結状況

事業所名	協定締結	内容
水内荘	豊野区、泉平ハイツ	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施
信濃学園	波田学院、松本市波田 2 0 区町会	地域の独居者受け入れ
ほっと上伊那	伊那市	災害時の地域の障がい児者の緊急避難場所
伊那ゆいま〜る	伊那市	
ほっとジョイブ	南箕輪村	南箕輪村との災害時における要援護者に受け入れに関する協定
西駒郷	駒ヶ根市下平区、こころの医療センター 駒ヶ根、宮田村大久保区	災害発生時等利用者の生命 safety のために必要な応援協力（2 地区同様）
障がい者福祉センター	長野市下駒沢区	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施、一時避難場所の提供、プールの水の提供
泉平ハイツ	豊野区、水内荘	災害時の避難応援、合同防災訓練の実施

○広報紙等発行状況

やまなみ発行月	特集記事	発行先	発行部数
令和 3 年 1 月 2 2 号	法人合併、長期派遣研修報告	利用者・保護者、関係機関	3,500

事業所	発行開始年度	広報紙名	回数	対 象
長野ブロック事業所	H25	水内荘グループ便り 通常	1	保護者、関係機関
みのち G H C	H 25	みのち GH センター通信	2	保護者
	H 22	ふらっと余暇情報紙	3	利用者
歩楽里	H 17	ふらりだより	12	利用者、保護者、関係機関
八雲日和	H 25	生活介護だより	2	保護者
小春日和	H30	就労移行支援だより	3	就労移行支援利用者、保護者
こぶし	H 23	こぶしだより	0	利用者、保護者、関係機関
信濃学園	S 57	信濃学園通信	3	地域住民、関係機関
	H19	なないろ通信	3	保護者
松本あさひ学園	H 23	ふれあい		保護者、連盟加盟施設、全児心加盟施設、関係機関等
松本ひよこ	H21	ひよこ通信	12	利用者（毎月）、地域住民・関係機関（年 2 回）
	H27	ひよこほのぼの通信	2	関係機関、地域、パン販売先
	H 29	ハイツ通信	4	保護者、地域住民
ほっと上伊那	H14	ほっとひといき	3	利用者、保護者、職員
伊那ゆいま〜る	H 21	ゆいま〜るだより	2	利用者、保護者、職員、関係機関
ほっとジョイブ	R1	ジョイブ通信	2	利用者、保護者、関係機関、近隣住民
辰野町就労・地活 C	H 21	工房ぬくもりだより	1	利用者、保護者、関係機関、企業

		広報たつの寄稿	12	地域住民
西駒郷	S44	にしこまごうだより	2	利用者、保護者、職員、関係機関・団体
上伊那圏域障がい者総合支援センター	H17	はあとぴあ	未発行	職員、事業所、市町村、関係機関
障がい者福祉センター	H10	まるかじりサンアップル	4	県内関係団体、市町村社協、県外障がい者施設・センター等
泉平ハイツ	H8	いずみだいら通信	3	利用者家族、関係機関、地域住民
	H16	泉平ファミリー新聞	12	利用者家族、関係機関、地域住民
	H23	けやき通信	12	利用者家族

各事業所研修実施状況

○研修実施状況

(単位：回、人)

事業所		事業所内研修			
		回数	実人数	延人数	内容
長野	水内荘	10	30	60	感染症対応、救命講習、虐待防止、会計
	みのちG Hセンター	5	6	12	長野ブロック研修、
	歩楽里	2	11	18	感染症予防研修、権利擁護研修
	八雲日和	12	12	144	救命講習、感染症予防
	小春日和	2	10	20	AED、虐待防止権利擁護伝達研修
	こぶし	*	*	*	長野ブロック研修不開催のため、資料配布のみ
松本	信濃学園	11	51	101	自閉症療育支援事業、職員研修、ケース検討会
	松本あさひ学園	11	12	230	支援の基本、虐待防止、防災等
	松本ひよこ	7	17	25	虐待防止、感染症予防研修、職員研修
	大北圏域障がい者就業・生活支援センター	2	3	6	外部研修等伝達研修
	松本児童家庭支援センター	2	2	4	職員福祉研修・心理研修
上伊那北部	ほっと上伊那	4	142	182	人権擁護虐待防止 感染防止 アンガーマネジメント
	伊那ゆいま〜る	2	17	32	事業団理念概要等、虐待防止
	ほっとジョイブ	6	17	92	A E D、虐待、防犯研修、事業団事業所理念概要等
	辰野町就労・地活	1	8	8	虐待防止
上伊那南部	西駒郷	17	278	317	行動障害者支援、長期研修復命報告会、リスクマネジメント、感染症(コロナ含)、個別支援計画等
	上伊那圏域障がい者総合支援センター	12	15	180	きらりあ研修 (毎月第3火曜日)
サン	障がい者福祉センター	3	34	34	所内研修、スポーツ課研修、総務課研修

事業所		視察等事業所外研修			
		回数	実人数	延人数	内容
長野	水内荘	21	15	29	虐待防止権利擁護、強度行動障がい者支援者養成、相談支援従事者等、苦情対応、感染症等
	みのちGH C	1	2	2	長野市障害ふくしネット
	歩楽里	16	5	18	相談支援現任、主任相談、権利擁護、サビ管更新、長野市障害ふくしネット等
	八雲日和	3	3	3	応急手当普及員再講習、サビ管更新、厚労省コロナ研修
	小春日和	3	3	3	就業支援研修、虐待防止権利擁護研修
	こぶし	1	2	2	長野市障害ふくしネット
松本	信濃学園	12	6	12	知障協自閉症、精神科セミナー、新型コロナウイルス感染症対策研修会等（WEB）
	松本あさひ学園	11	7	7	全児心研修、こどもの虹研修、養護施設等研修
	松本ひよこ	6	19	22	サビ管、相談支援、工賃向上、強度行動障害
	大北圏域障がい者・生活支援センター	2	2	2	就労支援スキル向上研修、全国フォーラム
	松本児童家庭支援センターあいく	4	2	4	子ども家庭総合支援拠点事業研修、フレックフォーラム研修会、パートナーシップ研修、事業団心理職員研修
上伊那北部	ほっと上伊那	7	14	28	虐待防止、感染症、サビ管、労務管理関係、苦情対応システム、地域防災ネットワーク
	伊那ゆいま〜る	3	3	3	サービス管理責任者更新、伊那市権利擁護ネットワーク、苦情システム
	ほっとジョイブ	4	8	9	相談支援専門員研修・施設見学
	辰野町就労・地活	4	2	4	虐待防止、相談現任、サビ管更新、工賃向上
上伊那南部	西駒郷	61	88	105	サビ管、相談支援、自閉症・精神領域セミナー、レクリエーション、就業支援、リスクマネジメント等
	上伊那圏域障がい者総合支援センター	32	56	56	新人研修、就労支援セミナー、ひきこもり研修 医ケア児研修、移行・定着研修、相談国研修
サン	障がい者福祉センター	16	22	59	コロナ禍のため中止

○主な世話人研修実施状況

(単位：回)

事業所	項目	世話人研修会	世話人定例会	ホーム世話人会
みのちGHセンター	回数	1	3	72
	内容	歯科衛生、感染症予防	年間予定、業務・医務 防災等マニュアルの確認	保健訪問、健康管理 生活支援
松本ひよこ	回数	1	0	10
	内容	松本圏域 GH 世話人 研修会		三郷 5 回、島内 5 回

ほっと上伊那	回数	全大会は0		12（各ホーム毎月）
	内容			利用者状況把握検討 虐待防止、障がい理解 アンガーマネジメント

<資料-2>

各事業所の状況

1 生活の場の充実

（1）成人入所施設利用者の支援

○入所定員と現員 令和3年3月31日現在

（単位：人）

事業所		定員	現員	前年度現員との増減
水内荘		40	39（40）	△1
西駒郷	駒ヶ根支援事業部	93	85（86）	△1
	宮田支援事業部	30	10（11）	△1
	合 計	123	95（97）	△2
合 計		286	229（234）	△5

注：（ ）は、令和2年3月31日の現員

○成人施設年齢構成

（単位：人、％）

区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	備 考（歳）
水内荘	人数	0	3	0	12	8	10	6	39	平均 56.0 最年少 23 最年長 81
	構成比	0.0	7.7	0.0	30.8	20.5	25.6	15.4	100	
西駒郷	人数	0	4	2	36	40	8	5	95	平均 50.8 最年少 20 最年長 78
	構成比	0.0	4.2	2.1	37.9	42.1	8.4	5.3	100	
合 計	人数	0	7	2	48	48	18	11	134	平均 53.4 最年少 20 最年長 81
	構成比	0	5.2	1.4	35.8	35.8	13.5	8.3	100	

○成人施設障害支援区分

（単位：人、％）

区 分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合 計	平 均
水内荘	人数	0	0	2	12	17	8	39	4.8
	構成比	0.0	0.0	5.1	30.8	43.6	20.5	100	
西駒郷	人数	0	0	0	9	31	55	95	5.5
	構成比	0.0	0.0	0.0	9.5	32.6	57.9	100	
合 計	人数	0	0	2	21	48	63	134	5.2
	構成比	0.0	0.0	1.5	15.7	35.8	47.0	100	

(2) 児童福祉施設利用者の支援

○定員と現員

(単位：人)

事業所名	定 員		現 員	
	入 所	通 所	入 所	通 所
信濃学園	30		29	
松本あさひ学園	30	5	14	2
合 計	60	5	43	2

○信濃学園年齢構成

(単位：人)

年 齢 区 分	男	女	合計	措 置	契 約	年 齢 区 分	男	女	合計	措 置	契 約
6 歳 未 満	0	0	0	0	0	18～20 歳 未 満	1	0	1	0	0
6～9 歳 未 満	0	0	0	2	0	20 歳 以 上	0	0	0	0	0
9～12 歳 未 満	5	3	8	4	4	1 8 歳以上小計	0	0	0	0	1
12～15 歳 未 満	7	3	10	6	6	利 用 者 合 計	19	10	29	15	14
15～18 歳 未 満	6	4	10	3	4	平 均 年 齢	13.6	13.4	13.5		
1 8 歳未満小計	18	10	28	15	14	最 高 年 齢	18	17	18		

○松本あさひ学園在園期間

(単位：人)

期 間	3か月 未 満	3か月～ 6か月未 満	6か月～ 1年未満	1年～ 年半未満	1年半～ 2年未満	2 年～ 3年未満	3 年 以 上	計
人 数	2 (1)	1	1	4 (1)	5	2	2 (1)	16 (2)

○松本あさひ学園入退所状況

(単位：人)

* () は通所

区 分		令和2年3月末 在籍者数	令和3年度中の入退所者		令和3年3月末 在籍者数
			新規入所	退 所	
小 学 生	男	5 (1)	2 (1)	1	6
	女	6	1	2	5
	小計	11 (1)	3 (1)	3	11
中 学 生	男	6 (1)	0	3 (1)	3 (2)
	女	3	1 (1)	3	0
	小計	9 (1)	0	6 (1)	3 (2)
合 計		20 (2)	5 (2)	9 (1)	14 (2)

(3) 入所施設の居室の状況

(単位：室)

事業所	水内荘	信濃学園	松本 あさひ学園	西駒郷			
				入所施設		入所施設 (すみれホーム)	合 計
				駒ヶ根支援 事業部	宮田支援 事業部		
1人部屋	18	20	20	93	14	5	170
2人部屋	14	5	5	0	0	0	24
合 計	32	25	25	93	14	5	194

(4) 共同生活援助の状況

○グループホーム及び利用者数

	GH数(棟)			利用者数(人)		
	元年度	2年度	増減	元年度	2年度	増減
みのちGH C	12	10	0	62(定員 65)	52(定員 60)	△10
松本ひよこ	4	4	0	22(定員 23)	23(定員 23)	1
ほっと上伊那	24	23	△1	117(定員 131)	118(定員 125)	1
計	40	37	△1	201(定員 219)	193(定員 208)	△8

○GH年齢構成

(単位：人、%)

区 分		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	合 計	備考 (歳)	
みのちGHC		0	2	2	2	7	8	31	52	平 均	67.1
構 成 比		0.0	3.8	3.8	3.8	13.5	15.4	59.7	100	最年少	23
松本ひよこ		0	2	2	12	3	2	2	23	最年長	85
構 成 比		0.0	8.7	8.7	52.2	13.0	8.7	8.7	100	平 均	47.9
ほっと上伊那		0	5	6	30	26	32	19	118	最年少	21
構 成 比		0.0	4.2	5.1	25.4	22.0	27.1	16.0	100	最年長	81
2 年度	合 計	0	9	10	44	36	42	52	193	平 均	55.9
	構成比	0.0	4.7	5.1	22.8	18.7	21.7	27.0	100	最年少	23
元 年度	合 計	0	10	11	53	28	51	48	201		
	構成比	0.0	4.9	5.4	26.2	13.9	25.3	23.8	100		

(令和3年3月31日現在)

○GH障害支援区分

(単位：人、%)

区 分	障害支援区分							合 計	平均
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定		
みのちGHセンター	0	9	26	13	3	1	0	52	3.3
構 成 比	0.0	17.3	50.0	25.0	5.8	1.9	0.0	100	

松本ひよこ		0	1	4	3	6	9	0	23	4.36
構 成 比		0.0	4.4	17.4	13.0	26.1	39.1	0.0	100	
ほっと上伊那		0	5	27	39	25	22	0	118	4.27
構 成 比		0.0	4.2	22.9	33.1	21.2	18.6	0.0	100	
2 年度	合 計	0	15	57	55	34	32	0	193	4.1
	構成比	0.0	7.8	29.5	28.5	17.6	16.6	0.0	100	
元 年度	合 計	0	18	58	58	34	32	0	201	4.1
	構成比	0.0	10.4	28.7	26.7	17.8	16.3	0.0	100	

(平成3年3月31日現在)

○年金取得

(単位：人、%)

区 分		年 金			
		1 級	2 級	未受給等	合 計
みのちGHCセンター		25	27	9 (老齢厚生併給)	52
構 成 比		48.0	52.0	(17.3)	100
松本ひよこ		13	10	0	23
構 成 比		56.5	43.5	0.0	100
ほっと上伊那		50	63	5 (老齢厚生給)	118
構 成 比		41.9	53.8	4.3	100
2 年度	合 計	88	100	5	193
	構成比	45.6	51.8	2.6	100
元年度	合 計	96	99	7	202
	構成比	47.5	49.0	3.5	100

(平成3年3月31日現在)

○工賃の取得 (月額)

(単位：人、%)

区 分		1万円未満	1万円～	2万円～	3万円～	4万円～	5万円～	6万円～	7万円～	合 計
みのちGHC-		48	3	1	0	0	0	0	0	52
構成比		92.3	5.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
松本ひよこ		20	3	0	0	0	0	0	0	23
構成比		86.9	13.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
ほっと上伊那		71	23	7	7	3	0	0	7	118
構成比		60.0	19.5	5.9	5.9	2.5	0	0	5.9	100
2 年度	合 計	139	29	8	7	3	0	0	7	193
	構成比	72.0	15.0	4.1	3.7	1.5	0.0	0.0	3.7	100
元 年度	合 計	139	15	21	6	9	0	3	8	201
	構成比	68.8	7.4	10.4	2.9	4.5	0.0	1.5	3.9	100

(令和3年3月31日現在)

○日中活動の状況

(単位：人、%)

区 分		一般 就労	就労支援事業所		共同作業所・地活		通所・生活介護		利用 なし	合 計
			事業団	その他	事業団	その他	事業団	その他		
みのちGHセンター		3	17	0	6	0	21	0	5	52
構成比		5.8	32.7		11.5		40.4		9.6	100
松本ひよこ		0	2	1	0	0	17	3	0	23
構成比		0.0	13.0		0.0		87.0		0.0	100
ほっと上伊那		8	33	12	2	2	44	12	2 介護保険 6	118 重 複 4
構成比		6.7	37.5		3.3		46.7		6.7	100
2 年度	合 計	11	52	13	8	2	82	15	7	193
	構成比	5.6	27.0	6.6	4.0	1.0	41.6	7.6	3.5	100
元 年度	合 計	12	50	12	10	6	88	12	15	205
	構成比	5.8	24.3	5.8	4.8	2.9	42.9	5.8	7.3	100

(令和3年3月31日現在)

2 日中活動の場の充実

○通所事業所の事業実施概要

(単位：人)

地域	事業所	事業名	開始年月日	定員 (人)	現員 (人)			
					合計	入所	GH	在宅等
長野	水内荘	生活介護	H23.1.1	60	58	38	18	2
	歩楽里	放デイ	H27.8.1	10	38	0	0	38
	八雲日和	生活介護	H19.4.1	20	16	6	4	6
		就労B型	H19.4.1	20	22	0	13	9
	小春日和	就労移行	H24.4.1	6	6	0	0	6
		就労定着	R1.6.1	—	0	0	0	0
		就労B型	H26.4.1	14	19	0	3	16
	こぶし	地活Ⅲ型	H19.1.1	15	13	0	7	6
松本	松本ひよこ	生活介護	H20.11.1	21	21	0	18	3
		就労B型	H23.11.1	18	18	0	2	16
	信濃学園	生活介護	H25.4.1	—	—	—	—	—
	松本あさひ学園	心理治療	H23.4.1	5	2	0	0	2
上伊那	辰野就労センター	就労B型	H21.4.1	20	23	0	1	22
	辰野地活センター	地活Ⅰ型	H19.4.1	20	14	0	2	12
	伊那ゆいま〜る	生活介護	H21.4.1	15	15	0	5	10
		就労B型	H21.4.1	20	24	0	1	23
	ほっとジョイブ	生活介護	H30.4.1	20	21	0	9	12
		就労B型	H17.10.1	20	23	0	10	13
	西駒郷 駒ヶ根日中支援課	生活介護	H23.4.1	125	122	79	28	15
		自立訓練 (生活訓練)	H23.4.1	10	休止			
	西駒郷わーく西駒	就労A型	H23.4.1	20	13	0	2	11

	西駒郷えご宮田	生活介護	H23.4.1	20	17	7	7	3
	西駒郷	就労移行	H27.4.1	6	1	1	0	0
	わーく宮田	就労B型	H23.4.1	34	42	8	23	11
合 計				701	528	139	153	236

* GHの人数とは、事業団のホーム利用者

○通所事業所の事業内容

地域	事業所	事業名	支援内容
長野	水内荘	生活介護	自主作業：野菜栽培、「うるおい班」：個別作業、軽スポーツ、レク活動、リハビリ訓練、等「ものづくり班」：野菜づくり、環境緑化、ウォーキング、カラダ体操、音遊び等「全体活動」：フラダンス、創作活動(塗り絵、張り絵)
	歩楽里	放課後等デイサービス	障がい児の放課後や休日・長期休暇中の支援：外出（公園、テイクアウトランチ、散策、買い物など）、紙芝居・DVD鑑賞、水あそび等、週ごとの活動プログラム（エコ活動、工作、スポーツ、季節のイベントなど）
	八雲日和	生活介護	自主作業：リサイクル活動、家庭菜園 受託作業：町内プランター設置 健康増進：創作活動、ストレッチ教室参加
		就労継続支援B型	自主作業：うどん・おやき・ドライフーズの製造販売、受託作業：セルフ斡旋事業、靴下作業、きのこキャップ、清掃作業、ブルーベリー畑草取り、ズッキーニ収穫
	小春日和	就労移行支援	就労支援：職場体験、企業体験、生活支援 マナー支援：あいさつ、身支度、ルール、コミュニケーションスキル等
		就労定着支援	定着支援：職場訪問、相談援助等
		就労継続支援B型	自主作業：製造販売 受託作業：箱折り、部品組み立て、畑作業、施設清掃、えのき工場等
	こぶし作業所	地活Ⅲ型	自主作業：牛乳パックリサイクル、受託作業：靴下加工・ボルト作業・レクリエーション活動・余暇活動・外出等
松本	信濃学園	生活介護	利用者不在のため実施せず
	松本あさひ学園	心理治療	女鳥羽中学校・岡田小学校各あさひ分校への通学、心理面接、診断治療、家族療法のプログラムにより支援、地域支援体制づくりへの協力
	松本ひよこ	生活介護	自主作業：陶芸、コーヒー豆焙煎、喫茶片付け、資源回収、受託作業：ノバキャップ、牛乳パック切り、資源物回収、日常生活支援：食事、入浴、排泄介助、絵画・陶芸・運動教室、調理実習、外出（買い物）支援
		就労継続支援B型	自主作業：パン販売・販売、ウエス作業 受託作業：他施設清掃（松本合庁・クリーニング検品・たたみ作業（リネンなかしま）、封筒封入封緘（セルフセンター）、ボールペン検品・配列
上伊那	伊那ゆいま〜る	生活介護	身体介護支援、療育活動（リラクゼーション運動、身体ほぐし、創作ダンス） 生産活動（資源回収）、創作活動（音楽、運動、アート）、入浴
		就労継続支援B型	自主作業：木工、紬縫製 受託作業：軽作業、部品検査、清掃業務、受託販売

	ほっとジョイブ	就労継続 支援 B 型	自主作業：バウムクーヘン、パン製造販売、手工芸品、農作物 受託作業：味噌カップラベル貼り、箸袋入れ、自動車部品組み立て
	辰野町就労 センター	就労継続 支援 B 型	自主作業：麺製造販売、ギフトセット製造販売、移動販売車 受託作業：塗装部品付け、清掃（1 箇所）
	辰野町地活 センター	地活 I 型	自主作業…ぼかし、ウエス 受託作業…セルフ商品、アルミ缶回収、創作活動…カレンダー、陶芸、絵画
	西駒郷 駒ヶ根日中支援 課	生活介護	自主作業：エコバック、保冷剤、手芸品、野菜栽培 受託作業：導線切り、ダンボール組立て、リサイクル回収、きのごチャップ作業
		自立訓練 (生活訓練)	
	西駒郷 わーく西駒	就労継続 支援 A 型	自主作業：豆腐・どら焼き・焼き菓子の製造販売、西駒郷会館業務 受託作業：ひまわり支援課ハウスキーパー補助業務、ゴマ瓶詰め その他：一般就労に向けた学習会(年 4 回) 講師きらりあの就業支援 W 等
	西駒郷 えこ宮田	生活介護	自主作業：野菜栽培・販売・加工、焼きいも販売、資源回収 受託作業：箱折り、シール貼り、かわら苺洗浄・乾燥、合庁清掃
	西駒郷 わーく宮田	就労移行 支援	就労支援：企業見学・実習、就職説明会 マナー支援：就労スキルアップ、あいさつ、身だしなみ、姿勢、面接練習
		就労継続 支援 B 型	自主作業：紬製品、薪・プランター製造、椎茸栽培、リサイクル回収 受託作業：クリーニング、電子部品組立、トナーバック製作・運搬、薪製造、 作業服部分加工、看護大清掃

○就労支援事業所の工賃

事業所	売上高 (千円)	労務費 (千円)	月平均工賃 (円)	前年比 (円)	月平均工賃最高額 等 (円)
八雲日和 (就労 B 型)	9,980	5,447	21,702	2,785	最高額 37,958 最低額 4,070
小春日和 (就労移行)	789	789	12,947	2,555	最高額 19,650 最低額 1,200
小春日和 (就労 B 型)	6,058	2,393	10,498	246	最高額 24,080 最低額 250
こぶし (地活)	244	0	2,156	△2,240	最高額 3,395 最低額 640
松本ひよこ (就労 B 型)	5,207	2,439	11,095	△9,403	最高額 23,857 最低額 1,367
伊 那 ゆいま～る (就労 B 型)	3,737	3,096	12,898	△1,504	最高額 32,226 最低額 638
ほっとジョイブ (就労 B 型)	16,025	5,504	20,389	△5,289	最高額 51,260 最低額 1,230
辰野町就労センター (就労 B 型)	6,722	5,484	20,620	△5,989	最高額 89,700 最低額 788
辰野町地活動センター (地活)	389	70	843	△893	最高額 1,480 最低額 50

西駒郷わーく西駒 (就労A型)	23,551	13,184	84,519	△6,646	最高額 最低額	107,158 57,422
西駒郷わーく宮田 (就労移行・就労B型)	16,329	10,278	20,393	△723	最高額 最低額	30,862 5,629

3 利用者の健康管理

○看護師配置状況

(単位：人)

事業所名	人数（人）	内容
水内荘	2（常勤）	医師と連携し服薬内容等の見直しを行いました。感染症対策では自然換気、拭き取りの徹底ほか、ガウンテクニックを学びました。理学療法士による機能評価・相談指導を行いました。
みのちG Hセンター	1（常勤） 1（パート）	看護師を中心に各ホームへ保健訪問を隔月で行いました。
八雲日和	1（常勤・兼務）	理学療法士による身体機能の維持訓練
信濃学園	1（常勤）	感染症の予防、関係医療機関との連携、衛生管理の徹底 新型コロナウイルス感染症について、危機管理委員会と連携して、学園の指針を定め、職員に周知徹底しました。
松本あさひ学園	1（常勤）	感染症の予防、関係医療機関との連携、健康相談
松本ひよこ	1（パート）	健康診断等の実施にあたり嘱託医との連携、精神科の入院利用者への支援、グループホーム利用者健康チェック巡回（週1回）
ほっと上伊那	1（常勤） 3（パート）	看護師のホーム訪問（月2回）健康相談、食事、栄養アドバイス
伊那ゆいま〜る	2（パート）	毎朝バイタルチェックを実施（体調確認、メンタルケア、リラクゼーション運動）
ほっとジョイブ	1（パート）	毎朝バイタルチェックを実施（体調確認、メンタルケア、理学療法士の指示による身体機能の維持運動）
西駒郷	4（常勤） 言語聴覚士1人(非常勤) 作業療法士1人(非常勤)	感染症の予防・対策（感染症対策指針及び新型コロナ対策マニュアル）、早めの病院受診、救急救命研修の実施、嚥下機能及び身体機能の評価、リハビリ・運動等のアドバイス
障がい者福祉センター	1（常勤）	医療・保健全般に関すること、利用者初期面談、スポーツ健康相談、医療・保健機関との連絡調整
泉平ハイツ	5（常勤） 2（パート）	健康管理、機能訓練、感染症対策

○健康診断等実施状況

(単位：人、回)

事業所	体 制			内 容		
	看護師		保健委員会 ／回年	定期健診回 数／回年	健診の種類数 ／種年	健康相談回 数／回年
	常勤	パート				
水内荘	2	0	12	1	3	12
みのちG Hセンター	1	1	12	1	3	12
八雲日和	1	0	12	0	2	12
小春日和	0	0	0	0	0	4

こぶし	0	0	0	0	2	12
信濃学園	1	0	4	1	6	適宜
松本あさひ学園	1	0	6	1	0	適宜
松本ひよこ	0	1	0	1	0	適宜
ほっと上伊那	1	3	0	1	1	適宜
伊那ゆいま〜る	0	2	0	2	0	適宜
ほっとジョイブ	0	1	0	2	0	適宜
辰野町就労センター	0	0	0	2	0	適宜
辰野町地活センター	0	0	0	2	0	適宜
西駒郷	4	0	2	2	6	適宜
障がい者福祉センター	1	0	0			1
泉平ハイツ	5	2		1		

4 食事の提供

○ 食事提供の状況

(年／回)

事業所名	提供方法	給食委員会	特記事項
水内荘	給食	6	委託業者：(株)魚国総本社 行事食・特別食 30 回（お花見弁当、お米ピザ、みのちカフェ、パンランチの日、ウナギの日、沖縄フェア、カボス鰯丼、出前ラーメン等
八雲日和	外注	なし	外注弁当（ち志ま 6 月まで、小春日和 7 月～）
小春日和	給食	なし	弁当を提供
こぶし	外注	なし	希望者に外注弁当（ち志ま～8.31 小春日和 9.1～）
信濃学園	給食	11	委託業者：日清医療食品 郷土食、節感のあるメニュー、誕生日の希望献立
松本あさひ学園	給食	6	委託業者：(株)メフォス、常食・行事食の提供
松本ひよこ	外注	なし	外注弁当、高齢者特別弁当
伊那ゆいま〜る	外注	なし	外注弁当 低カロリー、きざみ、柔らか食
ほっとジョイブ	外注	なし	刻み食、普通食対応
辰野町就労・地活センター	外注	なし	外注弁当
西駒郷	給食	3	委託業者：(株)メフォス 嚥下食、選択食 すしキャラバン、バイキング
泉平ハイツ	給食	12	食事班で利用者の状況に応じた食事提供

5 障がい者福祉センター事業

○主な文化事業実施状況

(単位：回、人)

区 分	長野県障がい者文化芸術祭			交流 イベント	舞台 発表 鑑賞会	芸術作品 の展示会 (展示 コーナー)	文化教室	文化活動 体験会
	展示会 (本展)	WEB 展示会	優秀作品 展等					
延べ 回 数	1	—	5	1	1	4	17	0
参加者数	349	809	1,174	288	148	—	223	0

○主なスポーツ事業実施状況

(単位：回、人)

区 分	大会等 実人数	定期 教室 延人数	通年 教室 延人数	出張スポ ーツ教室 延人数	レク大会 健康増進 実人数	研修会 実人数	自由参加 プログラム 延人数	体育施 設開放 延人数	派遣 事業 実人数
サンアップル	2 (130)	13 (834)	4 (379)		2 (101)	中止	4 (1,544)	8 (50)	
サンスポート ながの		1 (67)		41 (673)		1 (5)		12 (175)	3 (49)
サンスポート 駒ヶ根	中止	4 (347)	1 (51)	30 (542)	2 (199)	中止	4 (538)	8 (136)	
サンスポート まつもと	1 (58)	5 (185)		82 (959)	2 (56)	中止	1 (38)	17 (204)	
サンスポート 佐久	2 (79)	5 (126)		99 (1,275)	1 (87)	中止		4 (44)	2 (75)
実施回数計	5	28	5	252	6	1	9	49	5
人数 計	267	1,559	430	3,449	443	5	2,120	609	124

注：（ ）は、教室の参加人数

○地域スポーツ支援リーダーの活動

(単位：回、人)

地 域	リーダー数	指導回数等			内容
		回 数	実人員	延人数	
北 信	6	3	2	3	出張スポーツ教室、定期水泳教室 研修会講師
東 信	8	2	3	4	
中 信	6	4	1	4	
南 信	9	3	1	3	
合 計	29	12	7	14	

6 利用者本位のサービスの提供と社会的評価の促進

○顧客満足度調査 (単位 回)

事業所名	回数	対象	事業所名	回数	対象
水内荘	1	利用者、家族	ほっと上伊那	1	利用者
歩楽里	1	利用者、家族	伊那ゆいま〜る	1	利用者、家族、支援者
小春日和	0	利用者、家族	ほっとジョイブ	1	利用者、家族、一般
こぶし	1	利用者、家族	辰野町就労・地活	1	利用者、家族
信濃学園	1	利用者、家族	西駒郷	1	利用者、家族
松本あさひ	1	児童	サンアップル	12	利用者、家族、一般
松本ひよこ	1	利用者、家族	サンスポート駒ケ根	1	利用者、家族

7 「本人部会」充実への協力

○本人部会の活動状況

(単位：回)

<やぐも会（長野）>

項目	回数	内容
会議	0	新型コロナ感染予防のため活動停止
余暇活動	0	

<ともだちの会（ほっと上伊那）>

項目	回数	内容
会議	0	感染症対策のため実施 0
旅行	0	〃
その他	0	

8 家族との連携

保護者会活動への協力や家族への情報提供及び利用者と家族の交流の機会を確保し、連携強化に努めました。

○事業所と家族の連携・協力状況

(単位：人)

事業所名	保護者会		家族の協力			
	会議等	視察等	環境整備	イベント	個別支援計画等	その他
水内荘	43	0	30	0	0	0
歩楽里			0	0	49	0
八雲日和			0	0	40	0
小春日和			9	0	54	0
こぶし			0	0	1	0
信濃学園			中止	中止	2	*
松本ひよこ			*	*	*	*
ほっと上伊那			0	0	0	0
伊那ゆいま〜る			0	0	8 8	0

ほっとジョイブ			0	0	8	15
辰野町就労センター			0	中止	6	0
辰野町地活センター			0	中止	5	0
西駒郷	*	0	中止	15	郵送にて	0

* 参加はあるが人数が未確認

9 地域・ボランティアとの連携

○主なイベント

(単位：人)

事業所	イベント名	開催日	参加者数	内 容
水内荘	泉水祭り	中止	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
みのち GH センター	活動無し		0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
歩楽里	ふらり レクリエーション		0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
八雲日和	八雲感謝祭	中止	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
小春日和	ジャズガーデン	中止	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
信濃学園	のびろ祭	中止	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
松本あさひ学園	ほほえみ祭	10/10	59	松本あさひ太鼓演奏、自主製作学園映像試写会（縮小）
松本ひよこ	ひよこイベント	10/28	39	他事業所の移動販売
大北圏域障がい 者就労・生活支 援センター	精神・発達障害者 仕事サポーター養 成講座		0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
ほっとジョイブ	ほっとミニマルシェ	9/26	0	パン、喫茶、ゲーム等利用者お楽しみ会に変更
西駒郷	にしこま祭	10/16	220	模擬店、販売、ゲーム、花火打ち上げ等
障がい者福祉 センター	年末イベント	12/19～ 12/26	288	館内ウォークラリー、ワークショップ、 スポーツレクリエーション
泉平ハイツ	泉水祭	—	—	新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (泉平地区、水内荘、長野ブロック事業所)

○地域での学習会、教室の開催

(単位：回、人)

事業所名	教室・講演名	回数	参加人数	内容
信濃学園	こまくさ教室	2	5	外部専門家による療育相談（各種療法、言語、生活、運動、歯科、自閉症発達障がい、その他）
	こまくさ教室公開講座	—	—	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
松本 あさひ学園	学習会（信大との合同 カンファレンス・C A P 大人ワークショップ）	2	37	施設での性教育 困難事例のカンファレンス

大北圏域障がい者就労・生活支援センター	障がい者雇用セミナー（ハローワーク大町と共催）	0	0	新型コロナウイルス感染症対策のため中止
西駒郷	アトリエ「風と太陽」	6	66	障がいのある方がアート活動できるスペースの開放とそのサポート、作品展示（ほっと展にて）

○地域住民との主な連携状況

事業所名	依頼事項	協力事項
水内荘	なし	賛育会との水害時における一時避難施設に関する協定、施設開放（体育館、焼きもの窯）
こぶし	牛乳パック回収	なし
八雲日和	・長野市長沼、豊野復興イベント	イベント参加者の送迎、ふるまい用「おやき」の販売
小春日和	フリースペースの提供	賛育会へホール貸出（ひだまりほっとサロン） フラダンス教室へホール貸出
こぶし	牛乳パック回収	なし
信濃学園	裁縫ボラ、樹木剪定、環境整備、夏休みの支援ボラ、音楽療法ボラ、のびろ祭餅つき会等	新型コロナ感染予防のため中止
松本あさひ学園	新型コロナウイルス感染症拡大により中止	同左
松本ひよこ	施設周辺の環境整備、地区イベント・他施設へのパン販売、	施設周辺道路の除草・除草剤散布（年2回）、地域のお祭りでの販売、駐車場の貸出
ほっと上伊那	なし	周辺清掃、地区運動会等行事参加 地区防災訓練参加 伊那市東春近区地域ケア会議 箕輪町福祉計画区提へ協力（委員）
大北センター	施設周辺の環境整備	環境整備（月1回）、除雪（大町市社協と合同で実施）
伊那ゆいま〜る	広報紙回覧、古紙回収	なし
ほっとジョイブ	なし	周辺環境整備、ふれあい食堂へ食材提供
辰野町就労・地活センター	牛乳パック回収、アルミ缶回収、新聞袋作り	新型コロナウイルス感染症により中止
西駒郷	西駒郷協力会、にしこま祭などの事業所行事、駒ヶ根市下平区・宮田村大久保区との連絡会	地域のイベントへの参加・出店、地区清掃活動等
障がい者福祉センター	コロナ禍のため中止 納涼祭（下駒沢神楽）	コロナ禍のため中止 下駒沢地区防災訓練一次避難所
泉平ハイツ	環境整備、秋祭り協力	新型コロナ感染症対策のため中止（地区農業水路の清掃、祭り等イベント）

○サービス充実の主なボランティア受入状況

(単位：回、人)

事業所	日常支援			内容
	回 数	延人数	実人数	
水内荘	0	0	0	新型コロナ感染症対策ためなし
歩楽里	0	0	0	新型コロナ感染症対策ためなし
信濃学園	0	0	0	長期休業の支援、音楽療法等中止
松本あさひ学園	1	2	2	クリスマス会へアーセット
松本ひよこ	0	0	0	新型コロナ感染症対策ためなし
ほっと上伊那	12	14	4	余暇ダンス、理容ボランティア、
ほっとジョイブ	0	0	0	新型コロナ感染症対策ためなし
伊那ゆいま〜る	5	7	2	日常支援の手伝い
辰野就労C	0	0	0	
辰野町地活C	9	17	6	手話ダンス、お話し会、陶芸教室
西駒郷	217	233	14	陶芸等日中活動、作業補助、マッサージ
障がい者福祉センター	17	70	26	広報文書発送、遊戯室清掃等
泉平ハイツ	—	—	—	新型コロナ感染症対策のため中止

事業所	清掃等			イベント			内容
	回 数	延人数	実人数	回 数	延人数	実人数	
水内荘	1	5	5	0	0	0	環境整備（樹木剪定）
みのちG Hセンター	0	*	*	0	*	*	中止
歩楽里	0	0	0	0	0	0	中止
信濃学園	0	0	0	0	0	0	中止
松本あさひ学園	0	0	0	0	0	0	中止
松本ひよこ	2	5	5	0	0	0	清掃、除草
ほっと上伊那	0	0	0	0	0	0	
ほっとジョイブ	0	0	0	0	0	0	ほっとミニマルシェ
伊那ゆいま〜る	0	0	0	0	0	0	
西駒郷	0	0	0	2	4	4	行事、コンサート等
障がい者福祉センター	0	0	0	4	25	19	大会・イベント等

10 入所施設利用者の地域生活移行の推進

○平成14年度以降の地域生活移行者数

(単位：人)

区 分	H14 ～15	H16 ～20	H21 ～25	26	27	28	29	30	R1	R2	累 計
水内荘	0	28	13	1	0	0	0	1	1	0	44
信濃学園	0	0	9	2	6	1	2	5	2	1	28
西駒郷	46	201	48	13	2	1	0	1	2	1	315
合 計	46	229	70	16	8	2	2	7	5	2	387
西駒郷 再入所	0	10	5	0	1	0	0	0	0	0	16

1 1 地域福祉サービス体制の充実

(1) セーフティーネット機能強化

ア 短期入所利用状況 (人日)

区 分	延入日数	実人数 (人)	1 日平均 (人)	昨年度 1 日平均 (人)
水内荘	114	11	0.3	1.8
信濃学園	26	10	0.02	0.08
西駒郷	1,214	14	3.3	3.7

イ 日中一時支援

区 分	延入時間	実人数 (人)	1 日平均 (人)	昨年度 1 日平均 (人)
信濃学園	9 3	15	0.04	0.12

ウ 放課後等デイサービス利用状況 (人日)

区 分	延入日数	実人数 (人)	1 日平均 (人)	昨年度 1 日平均 (人)
歩楽里	2,571	38	8.5	7.0

(2) 居宅介護サービスの状況

○居宅等介護事業の実績

(単位：人、時間)

区 分			居宅介護			重度訪 問介護	行動 援護	地域生活支援 事業		自立 サポート 支援事業	合 計
			身体 介護	家事 援助	通院 介助			移動 支援等	タイム ケア		
歩 楽 里	登 録	2 年度	2			0	13	9	35	25	84
		元年度	2			0	16	12	34	28	92
	実 績	2 年度	0	0	21.0	0	2,083.5	363.0	2126.5	577.0	5171
		元年度	0	0	24.0	0	2,225	652.0	2408.5	563.25	5872.75
ほ っ と 上 伊 那	登 録	2 年度	70			0	14	106	0		
		元年度	66			0	14	104	0		184
	実 績	2 年度		0	1364		800.5	3957.5			6122
		元年度	0	0	1792.5		775	6039.0			8606.5

(3) 相談支援事業の状況

○相談支援実施状況

(単位：人)

	配置人数		特定相談 (件)		障がい児相談		一般相談	
	専 従	兼 務	サ-ビス等 利用計画	モニタリグ	サ-ビス等 利用計画	モニタリグ	地域移 行支援	地域定 着支援
水内荘	0	3	14	31			0	0
歩楽里	1	2	149	396	32	46	1	0
松本ひよこ	0	3	18	36	0	0	0	0
ほっと上伊那	0	0	0	0				

伊那ゆいま〜る	0	1	24	0				
ほっとジョイブ	0	2	42	3				
辰野就労センター	0	3	19	5				
西駒郷	3	7	126	265			0	3
上伊那圏域 C	0	6	148	112	50	35	2	0
松本児家セン	3	1					40	

(4) 余暇(スポーツ(運動)・文化)活動支援体制の整備

○事業所レクリエーション事業 (余暇活動支援)

＜所内実施事業＞

(単位：回)

事業所		季節行事	誕生会	スポーツ	文化	その他	回数
入 所	水内荘	3	0	1	0	0	4
		お花見、餅つき、節分		ハロウィン運動会			
	信濃学園	5	4	0	0	2	11
		夏祭り、ひな祭り等				お疲れ様会	
	松本 あさひ学園	0	0	0	12 音楽、調理、紙 芝居等	8 レクリエーション、 自転車研修	20
通 所	西駒郷	25	30	2	4	8	69
		お花見、暑気払い等	誕生会	軽スポーツ等	コンサート、折り 紙教室等	聴導犬ふれあい ぬくもり号等	
	八雲日和	10	9	1	0	2	22
		クリスマス等	誕生会	ストレッチ		昼食	
	小春日和	0	0	0	0	0	0
	こぶし	2	12	1	3	12	30
		クリスマス等	誕生会	レクスポ	石ころアート	DVD鑑賞等	
	松本ひよこ	2	3	0	0	0	0
		花見 新年会	食事会				
	辰野就労 センター	4	0	0	0	8	12
		花見、暑気払い 忘年会等				合同レク	
	辰野地活 センター	5	0	0	0	0	5
		花見、暑気払い 忘年会等					
	ほっと ジョイブ	2	0	2	0	1	5
		暑気払い 忘年会等		サンスポート教室等		ほっとミニマルシエ	
	伊那 ゆいま〜る	6	0	0	0	5	11
		花見、新年会等				食事会	
G H	みのち G Hセンター	各ホーム内で実施		-	-	-	0

	松本ひよこ	各ホームで実施	—	—	—	—
	ほっと 上伊那	各ホームで実施	—	—	—	—
相談 他	歩楽里	季節に合わせ 七夕まつり、夏祭り、 ハロウィン、クリスマス等	—	—		—
	大北圏域 センター	(在職者交流会)	0	1 調理教室	2 リモート交流	3

<所外実施状況>

(単位：回)

事業所		季節行事	食事会	スポーツ	各種鑑賞	旅行	地域行事他	回数
入 所	水内荘	0	0	0	0	0	0	0
	信濃学園	0	0	0	0	0	随時 個別外出	*
	松本あさひ 学園	0	0	3 野球大会	0	0	0	3
	西駒郷	1	3	0	1	1	0	6
バスハイク		バーベキュー 等外食		ほっと展 (市内)	日帰り			
通 所	八雲日和	0	0	0	0	0	0	0
	小春日和	0	0	0	0	0	0	0
	こぶし	1	0	2	0	1	0	4
		花見		ボーリング		ドライブ		
	松本ひよこ	2	1	0	1	1	0	5
		花見 新年会	食事会					
	辰野町就労 支援センタ ー	0	0	0	0	0	0	0
	辰野町地活 センター	0	0	3	0	0	12	15
				サンスポ 教室等			ドライブ散策	
ほっと ジョイブ	0	0	1	0	0	常時	12	
			ボウリング			公園、寺巡り		
伊那 ゆいま〜る	0	0	0	0	0	0	0	
	いちご狩り	美術鑑賞等	スポーツ大 会、サンスポ 教室	美術館、プ ラザリウム等	バスハイク	水神祭 ふれあい広場 交流会等		
G H	みのちGH センター	新型コロナ感染予防のため活動なし						

	松本ひよこ	各ホームで実施				－	適宜
	ほっと 上伊那	各ホームで実施 8回 ダンススクラブ				地区行事等 ホームごと	適宜
相談他	歩楽里	－	1 サンアップル スポーツ教室	－	－	－	－

<泉平ハイツ利用状況>

1 特別養護老人ホーム利用者の状況

(1) 介護度別利用者数（定員：74名）（単位 人）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	2	2	3	2	9
女性	3	0	13	25	17	58
合計	3	2	15	28	19	67

(2) 年齢別利用者数（単位 人）

	男性	女性	計	備考（歳）
60歳未満	0	0	0	最高齢 男性 94歳 女性 101歳
60歳～69歳	1	1	2	
70歳～79歳	2	9	11	
80歳～89歳	4	20	24	平均連齢 男性 85歳 女性 88歳
90歳～99歳	2	26	28	
100歳以上	0	2	2	
合計	9	58	67	

(3) 在所期間別利用者数

区分	3月未満	3カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	合計	一人当たりの 平均在所期間
男性	0	1	3	1	4	0	0	9	4年8ヶ月
女性	6	9	17	10	11	1	4	58	4年5か月
合計	6	10	20	11	15	1	4	67	4年6か月

2 ショートスティ利用者の状況

利用者延べ人数（定員：16名）（単位 人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	267	288	269	255	287	322	331	424	435	584	517	453	4,432

前年度 4,914人

3 デイサービス

利用者延べ人数（定員：25 名）

（単位 人 %）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	24	24	27	310
利用者数	350	359	444	430	376	362	391	357	384	303	317	373	4,446
1日平均	13.5	13.8	17.1	15.9	14.5	13.9	14.5	14.3	14.8	12.6	13.2	13.8	14.3

前年度 5,111 人

4 グループホーム

（1）介護度別利用者数（定員：18 名）

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	2	1	0	3
女性	3	2	5	3	2	15
合計	3	2	7	4	2	18

（2）年齢別利用者数

年齢	70～79	80～84	85～89	90 以上	平均年齢
男性	0	0	0	2	96
女性	0	3	3	10	89
合計	0	3	3	12	90

事業報告書附属明細書

補足すべき重要な事項はありません。